

令和4年度 事業報告書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告

長期化する新型コロナウイルスの影響に加え、国際情勢も不安定な中、私たちの生活様式は変化し続け、社会全体が不安に包まれている。また、加速する少子高齢化や世帯人員の減少、単身化の進行などによる、孤立死や認知症高齢者の増加、住民同士のつながりの希薄化や経済的困窮などを背景とした社会的孤立や子どもの貧困など、地域における福祉課題が複雑多様化、深刻化する中、既存のサービスだけでは対応できない、いわゆる「制度の狭間」で支援を必要としている人たちが増えている。このような課題に対し、必要な支援を包括的に確保し、地域共生社会の実現を目指す総合的な支援策の展開が求められている。

そのような中、本会では、令和3年度から開始となった第6期地域福祉活動計画において「つながりで“元気”“安心”なまちの実現」を目標に掲げ、コロナ禍の中でも「活動を止めない」「つながりづくりを絶やさない」という方針のもと、「はなれてもつながる」「ちいさくあつまる」「ちいさくあつまるをつなげる」を基本コンセプトとして、「withコロナ」から「afterコロナ」までを見据えた地域福祉の実践を積極的に行ってきた。

「withコロナ」時代の地域福祉実践として、高齢者のフレイル防止や見守り機能強化、交流の機会創出を可能とするアプリの開発をはじめとするICTを活用した仕組みづくりを地域福祉活動の新たなインフラとするべく、改良をさらに進めた。

また、令和3年度から配置している市社協本部の個別支援型の地域福祉ソーシャルワーカー(以下「CSW」)による、既存の制度に当てはまらない課題について、地域資源との連携により解決を図るモデル事業を引き続き実施し、包括的な支援の実践を行なった。

さらに、福岡市が令和3年度に設置し本会が運営を受託している「福岡市成年後見推進センター」の安定的な運営を目指すとともに、専門職によるアウトリーチ派遣などを試行的に行なった。また、法人後見事業では、市民参加型後見人として経験を積んだ3名が福岡都市圏で初めて「市民後見人」として個人選任された。

令和4年度の主な実施事業は、以下のとおりである。

【重点項目】

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

- (1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化
- (2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化
- (3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進
- (4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進
- (5) 多様な主体との連携・協働の推進

2. ボランティアによる社会参加の拡大

- (1) ボランティアの参加や裾野の拡充
- (2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発
- (3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上
- (4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

- (1) 地域の子どもプロジェクト
- (2) 買い物支援
- (3) 「終活」支援
- (4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働
- (5) コロナ禍を乗り越え、地域共生社会の実現を目指す実証実験
- (6) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

4. 権利擁護事業の拡充

- (1) 持続可能な日常生活自立支援事業の実施
- (2) 権利擁護支援の地域連携ネットワーク強化と成年後見制度の利用促進
- (3) 本人を中心とした関係機関の連携・チームによる支援
- (4) 法人後見事業の推進と市民後見の充実
- (5) 信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討

5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

- (1) 「断らない相談窓口」の運営
- (2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施
- (3) 居住支援法人事業の実施
- (4) 制度の狭間を埋める社協ならではの分野横断的な役割の実践
- (5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」

6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

- (1) 個人情報保護と活用
- (2) 福祉教育の推進

7. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

- (1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成
- (2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ(自助)グループへの支援
- (3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化
- (4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置

重点項目

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和5年3月31日現在のもの。

※「中止」と記載があるものは、すべて新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるもの。

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

(1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化

一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人々が地域で孤立せず、安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係団体が連携して、日常的な見守りなどの支援体制づくりに取り組む「ふれあいネットワーク活動」の更なる拡充に向け、見守りマップの作成支援等を通じ平常時の見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取組みを進めた。

また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成した。

〔実施自治会（町内会）率〕 86.0% 〔助成額〕 18,809,186円

〔活動状況〕

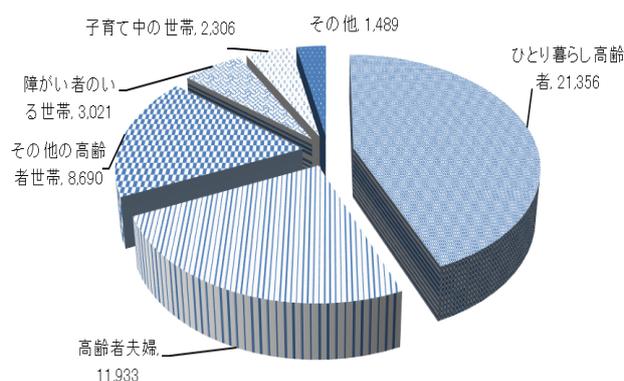
()は前年比の数字

区	校区数	助成 校区数	助成 自治会数	対象世帯数	ボランティア数
東	30	27	376 (1)	9,912 (△686)	3,003 (66)
博多	22	20	297 (1)	5,858 (261)	1,640 (△2)
中央	14	11	301 (3)	7,167 (192)	937 (22)
南	25	25	304 (1)	8,246 (519)	2,213 (28)
城南	11	11	147 (2)	3,671 (△126)	1,217 (△91)
早良	25	22 (△1)	229 (△5)	6,948 (△137)	1,891 (△80)
西	24	22	164 (10)	6,993 (707)	1,517 (△68)
合計	151	138 (△1)	1,818 (13)	48,795 (730)	12,418 (△125)

〔活動対象世帯内訳〕

〔活動内容内訳〕

(重複あり)



活動内容		世帯数
安否確認・声かけ・話し相手		48,795
保健福祉サービスの紹介		2,985
生活の支援		1,351
内 訳	ゴミ出し	591
	電球の取り替え	214
	買物代行・薬取り	202
	家事援助 (掃除・洗濯・炊事など)	152
	外出援助 (通院・買物付添など)	178
	急用時の子どもの送り迎え・預かりなど	14

① ふれあいネットワーク研修会の実施

各校区の担当者・役員を対象に、コロナ禍の中でもつながり続ける取組みを支援するため、地域の実情に応じた研修会を実施した。

〔実施状況〕 区単位：2回（延参加者数51人）

校区・町内単位：179回（延参加者数5,055人）

主な内容：避難行動要支援者名簿の活用、見守りマップ作成・更新
まちづくりプランの振り返り、講話 等

(2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化

一人暮らしや身体機能の低下等により、家に閉じこもりがちな高齢者等の引きこもりの解消や認知症・介護予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所等でレクリエーションや健康体操等の活動を取り入れ、交流・ふれあいの場を広げる「ふれあいサロン活動」の拡充を支援した。特に、地域の実情に応じたふれあいサロン活動の介護予防機能の強化に向けた働きかけを行なった。また、感染防止の観点でサロンを中止した場合に、サロン利用者の支援に取り組む「はなれてもつながる」活動に、ふれあいサロン助成金を活用することができる特例措置を令和3年度に引き続き行い、コロナ禍でも柔軟にサロン活動を実施できるよう支援した。

〔助成額〕 18,491,777円

（内訳）サロン活動助成：11,766,739円

〔活動状況〕

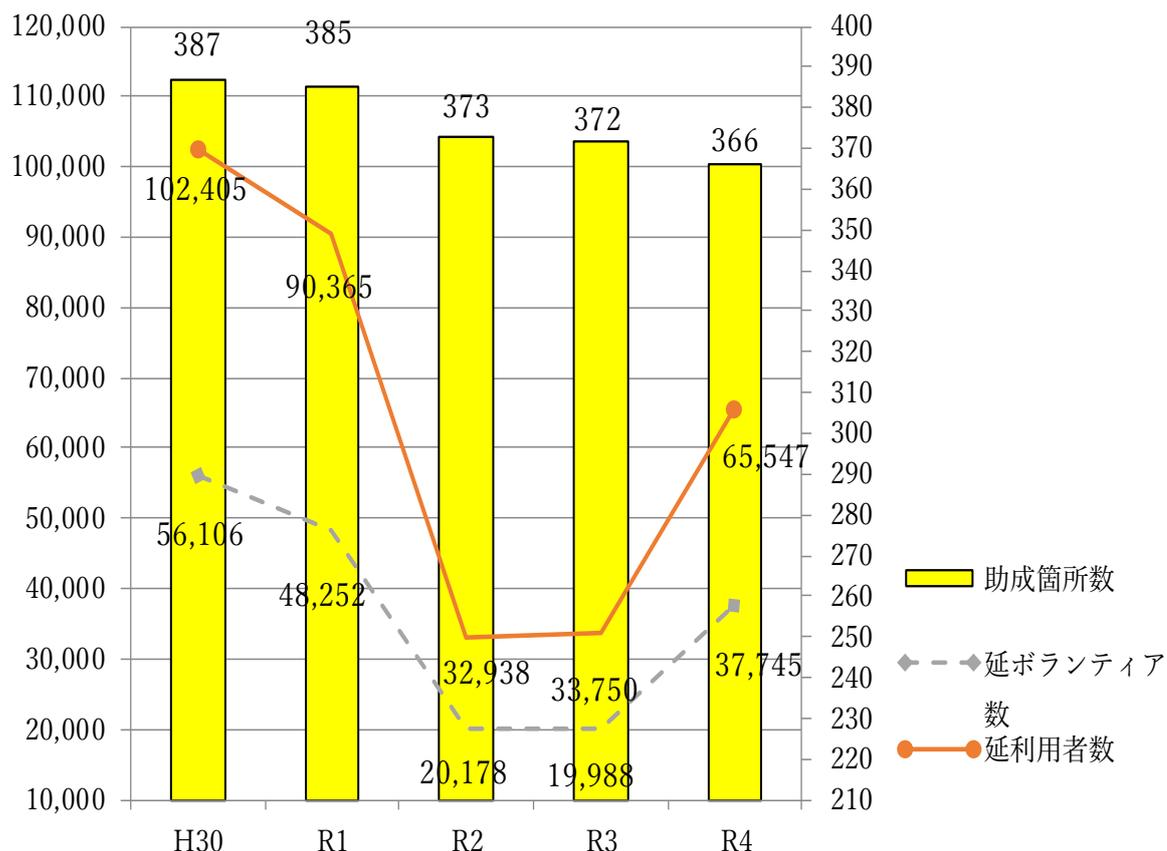
（ ）は前年比の数字

区	校区数	助成校区数	助成箇所数	延実施回数	延利用者数	延ボランティア数
東	30	26	75 (△2)	1,099 (491)	12,438 (5,945)	7,624 (3,349)
博多	22	18 (△1)	52 (△1)	954 (416)	11,296 (5,127)	4,808 (2,151)
中央	14	12	27 (△1)	353 (182)	3,803 (2,211)	2,386 (1,240)
南	25	23 (1)	43 (2)	670 (313)	7,699 (3,986)	4,553 (2,283)
城南	11	10 (1)	39	539 (275)	5,744 (3,038)	3,092 (1,532)
早良	25	23	55 (△1)	1,146 (543)	12,203 (5,611)	8,379 (4,112)
西	24	21 (△1)	75 (△3)	1,179 (537)	12,364 (5,879)	6,903 (3,090)
合計	151	133	366 (△6)	5,940 (2,757)	65,547 (31,797)	37,745 (17,757)

（参考）1回あたりの平均利用者数：11.0人（+0.4人）

1回あたりの平均ボランティア数：6.4人（+0.1人）

〔助成箇所数、延ボランティア数、延利用者数の推移〕



① ふれあいサロン研修会の実施

各校区の担当者・役員を対象に、新型コロナウイルスの感染対策を講じた運営やプログラムの支援、「はなれても つながる」取組みの周知・啓発をするなどの研修会を実施した。

〔実施状況〕区単位：15回（延参加者数404人）

校区・町内単位：16回（延参加者数299人）

主な内容：コロナ禍でのプログラム、各サロンの活動共有、講話 等

② 出前講座協力機関情報の提供

ふれあいサロン等へ、講話やレクリエーションなどの出前講座ができる企業・団体等の冊子を作成・配布し、プログラム策定の支援を行なった。

③ 介護予防機能強化に向けたプログラム指導者等の派遣

ふれあいサロン等における介護予防機能強化を目的として、区社協で養成したボランティアをグループ化し、地域からの依頼に応じて指導者として派遣した。

区	グループ名	派遣先	派遣回数
東	お元気届け隊	ふれあいサロン、地域カフェ等	48
南	南区ほがらかたい	ふれあいサロン 等	8
西	わくわくキッズ	ふれあいサロン	5

(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進

地域課題やその解決策を住民が主体的に話し合い、自ら目標を定め今後の活動目標等を見える化し、実践につなげる方法として「校区福祉座談会」などを開催するとともに、その内容をより多くの住民で共有するため、新たに2校区で「校区福祉のまちづくりプラン」策定を支援した。これまでに市内60校区のプラン策定を支援している。

〔令和4年度新規策定校区〕

区	校区	プラン名
城南	七隈	つながるプラン“ななくま”
西	福重	福重校区「つながる」プラン

(4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進

① ご近所お助け隊支援事業

i) 生活支援ボランティアグループの立上げ・運営支援

日常の“ちょっとした困りごと”のお手伝いを、身近な地域で行う「生活支援ボランティアグループ」に対して、情報提供や既存のグループから助言を受ける場のコーディネートなどを支援した。

〔活動団体数〕 57団体

ii) 生活支援ボランティアグループへの費用助成

「ご近所お助け隊支援事業」として、新規立上げ時の初期費用及び運営体制強化の費用を助成し、生活支援ボランティアグループの活動を支援・促進した。

〔助成団体数・額〕 10団体・314,000円

区	団体数	立上げ助成数	運営強化助成数
東	3	1	3
博多	2	0	2
中央	0	0	0
南	2	0	2
城南	0	0	0
早良	2	0	2
西	1	0	1
合計	10	1	10

※重複あり

iii) 生活支援ボランティア研修会及び交流会（福岡市委託事業）

生活支援ボランティアグループと、活動を検討している団体を対象に、先進地事例を学ぶ実践発表や、お互いの活動状況や課題等に関する意見交換を行なった。

実施日	内容	参加団体数	参加者
12月22日	・ボランティア団体の実践発表 ・意見交換会 ・情報提供	24	37

(5) 多様な主体との連携・協働の推進

公民館や福祉施設・事業所、企業、大学、NPO等と地域とのコーディネートに取り組み、多様な主体のそれぞれの強み・人材・資源を持ち寄った地域福祉活動の展開へとつなげた。

〔地域と社会資源の協働による取組み〕

- ・福祉施設・事業所・企業・大学等によるふれあいサロンや地域カフェでのプログラム支援（例：健康講座、スマホの使い方相談会、終活・相続相談、メイク・マッサージなど）
- ・大学の協力で認知症高齢者への接し方を学んだガス検針員の見守り活動への参加 など

2. ボランティアによる社会参加の拡大

(1) ボランティアの参加や裾野の拡充

① シニア世代の活動支援事業（区シニア地域サポーター養成講座）

地域福祉活動の新たな担い手を養成する講座を、市及び区ボランティアセンターで開催し、修了者を地域の福祉活動につないだ。

	内容	受講者	活動開始者
本部	知的障がいや発達障がいのある人を支援するボランティア入門講座	18	8
	知的障がいや発達障がいのある人を支援するボランティアフォローアップ講座	24	23
東	子ども食堂ボランティア養成講座	16	6
博多	絵本の読み聞かせボランティア講座	13	5
中央	食で支援するボランティア講座	22	2
南	地域でサポート！子ども・子育てボランティア講座	9	2
城南	ごみ出しボランティア養成講座	5	1
早良	高齢者外出支援ボランティア養成講座	13	3
西	傾聴ボランティア養成講座	22	11
合計		142	60

② 介護支援ボランティア事業（福岡市委託事業）

高齢者（65歳以上）の社会参加、生きがいづくりや介護予防を促進するため、ボランティア登録者を介護保険施設等での活動につなぐコーディネートや、活動に必要な知識・スキルを習得するための講座等を実施した。

i) ボランティア登録者、登録施設、活動の状況

（令和4年12月末現在）

個人登録者	2,092
登録施設	513
令和4年中の活動者	254

換金申請者	人数	金額（円）
奨励金交換者	93	317,800
寄付者	57	107,000
合計	150	424,800

※活動で付与されるポイントは「奨励金として換金」もしくは「市社協への寄付」を本人が選択・申請。

（1日1時間以上の活動＝200ポイント＝200円に換金。換金の上限は5,000円）

〔活動内容〕

（令和4年1月～令和4年12月累計）

活動種別	延活動者	活動種別	延活動者
レクリエーション・囲碁将棋	2,417	食事介助の補助	1,104
芸能	216	行事の手伝い	18
話し相手	1,488	入浴介助の補助	30
清掃・衣類整理	577	散歩・屋内移動・送迎の補助	150
美容	136	その他	404
合計		6,540	

ii) 説明会、研修、講座の実施

実施日	内容	参加者
8月3日、2月15日	登録説明会	42
6月29日、7月29日、8月24日、 9月29日、10月26日、11月25日、 12月17日、1月26日	新規登録者研修	26
7月29日、10月26日、1月26日	ボランティア活動講座	72
9月1日、3月24日	スキルアップ講座	58

(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

① 企業ボランティア活動支援事業【南】

企業の社会貢献や従業員のボランティア活動に関する相談に応じ、活動先の施設等のニーズを調査し、活動先を紹介する事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

① 認知症介護家族やすらぎ支援事業（福岡市委託事業）

認知症の方を在宅で介護している家庭に訪問し、本人の見守り・話し相手や家族の相談に応じるボランティア（やすらぎ支援員）の派遣及び養成・スキルアップに取り組んだ。

〔活動状況〕

実利用世帯数	訪問回数	実活動支援員数
10	249	8

〔やすらぎ支援員の養成やスキルアップに係る研修〕※やすらぎ支援員の新規登録者数：26名

実施日	内容	参加者
6月11日	第1回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	13
9月3日	第2回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	12
10月28日	やすらぎ支援員養成研修（認知症のある人と家族を支える ボランティア養成講座）	17
12月23日	第3回やすらぎ支援員フォローアップ研修会	10

② 笑顔の10分コール【東】

新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控え、人と話す機会が減っていることを受け、「誰かに話を聴いてもらいたい」という声に応えるために、傾聴ボランティア笑みの会と東区社協が協働で、専用ダイヤルでボランティアが傾聴する事業を実施した。

〔実施日〕毎週金曜日 13:30～15:30 〔件数〕6件

(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

福岡市と協働し、災害支援団体やNPO等との連携体制づくり、災害ボランティアセンター（以下、「災害VC」）設置候補地の確保、災害VC設置・運営訓練、啓発活動やボランティアの養成などに取り組んだ。

① 災害ボランティアセンター運営の基盤づくり（行政や多様な主体との連携）

i) 災害ボランティア団体等意見交換会（福岡市との共催）

実施日	内容	参加者
2月20日	行政・社協・団体等の三者連携の促進を目的に、災害支援団体、市、市社協等で情報共有・意見交換。	19

ii) 災害支援ボランティア団体等の登録制度の運用

〔登録団体数〕 11 団体（うち新規登録団体 1 団体）

iii) 災害 VC 研修会の実施（内部向け）

福岡市での大規模災害発生時に、災害 VC 運営の中心を担うこととなる社協職員のスキルアップを図るため、運営のシミュレーションを通して基本的な考え方や必要な知識を学ぶ職員向け研修を実施した。

iv) 「災害ボランティアセンター設置運営訓練」の支援【早良】

西南学院大学社会福祉学科で、個別面談技法などのソーシャルワークを災害時の被災者支援に活用できるように実施した「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を支援した。

② 災害ボランティアの裾野を広げる市民啓発や人材育成の取組み

i) 災害ボランティア入門講座（福岡市ボランティアセンター主催）

実施日	内容	参加者
3月9日	テーマ「もしもの時、力になれることがある」 ※会場・オンラインのハイブリット開催。	29

ii) 福岡市主催「災害ボランティア講座」への講師協力

実施日	依頼者・会場	内容	参加者
2月20日	福岡市市民局市民公益活動推進課 (福岡市 NPO・ボランティア交流センターあすみん)	災害 VC について	22

iii) 防災イベントへの参加

実施日	イベント名(会場)	内容
9月11日	早良区安全・安心フェスタ (ともてらす早良)	災害ボランティア紹介する動画やパネル展示など
11月1日 ～5日	市防災フェア (福岡市役所1階)	災害ボランティアや災害 VC について紹介するパネル展示

3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

(1) 地域の子どもプロジェクト（一部福岡市委託事業）

経済的に困窮している子育て中の世帯や、地域との関係が薄く孤立し、生きづらさを抱えている世帯等の課題解決に向け、子どもの居場所づくりの活動支援・基盤強化や専門職等との連携強化に取り組んだ。

① 「子ども食堂」等地域における子どもの居場所づくり支援の拡充

地域住民が主体となって実施する子どもやその親が安心して過ごせる居場所づくりや、多世代との交流をとおして生活習慣等を子どもが身につけ自立して生きる力を育む取組み、学生ボランティア等と連携した学習支援の取組み等を支援した。

〔区社協が支援した居場所づくり〕【附属明細書：P.1（別表1）参照】

② 子どもの居場所を多様な主体が支え応援する仕組みづくりの推進

地域や学校、企業、団体、行政等と連携し、食事・食材の提供をとおして子どもを支える地域づくりに取り組んだ。

i) 子ども食堂等への食材提供の仕組みづくり

子ども食堂の多くが抱える食材調達の高コストへの支援策として、JA福岡市・JA福岡市東部やベジフルスタジアム活性化委員会への協力を得て、子ども食堂等への食材提供支援事

業を実施した。

ii) 飲食店を会場とした子ども食堂等の開設支援【中央】

飲食店が多いという中央区の特性に着目し、飲食店等を会場にした子どもの居場所の開設支援を行なった結果、5か所で新たに活動がスタートした。

校区	会場	名称	活動日
草ヶ江	六本松食堂	虹色子ども食堂	第2水曜日 17:00～20:00
警固	居酒屋「魚平」	夢食堂	毎日 15:00～17:00
平尾	SUZUKAKE GOHAN	こども食堂CIRCLE	毎週水曜日 15:30～19:00
春吉	春吉公民館	HARU (飲食店5店舗、地域団体、 行政関係の有志)	月4回 15:00～16:45
当仁	Vinahouse	福岡国際子ども食堂&居場所	毎週日曜日 14:00～19:00

iii) 企業等からの寄贈品のコーディネート

企業等から物品や食料等を提供したいとの相談を受け、市内の子ども食堂との連絡調整窓口となり、寄贈のコーディネートを行なった。また、今年度から子ども食堂への寄付・寄贈物品の受渡し日を予め設定することで企業並びに子ども食堂双方が計画的に受渡し・受取りができるように、「企業×子ども ふくふくお届け便」と表して2か月に1回受け渡しができるような仕組みを構築した。

③ 関係機関・専門職との連携による子ども・子育て世帯のSOSの早期発見・早期対応

地域の実情に応じた運営を支援するため、団体同士の情報交換やスクールソーシャルワーカー（以下「SSW」）との連携強化を目的とした交流・情報交換会を実施したほか、福岡市子どもの食と居場所づくり支援事業補助金の申請等の受付業務を含め団体の新設や運営の支援を行なった。

また、関係機関と情報共有を行いながら、個別ケースの支援を行なった。

〔食と居場所づくり団体の交流・情報交換会〕

区	実施日	参加団体数	参加者数	主な内容
東	3月2日	22	28	講話、活動報告、各種団体紹介、情報交換
博多 中央 城南	11月7日	10	51	実践報告、交流・情報交換会 (博多区、中央区、城南区合同)
南	11月8日	6	12	活動報告、情報交換会
早良 西	2月17日	11	15	講話、情報交換 (早良区、西区合同)

〔SSWとCSWとの合同研修〕

実施日	内容	参加者
8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWとCSWの役割について ・地域資源を活かした学習支援事業～つながりが見せる可能性～ ・情報交換 	47

(2) 買い物支援（一部福岡市委託事業）

① 地域が主体の買い物支援の推進【附属明細書：P.4（別表2）参照】

i) 買い物等支援推進員の配置

市社協地域福祉課に買い物等支援推進員を2名配置し、各区社協の生活支援コーディネーター及びCSWと連携して、地域が主体の買い物支援の取組みを進めた。

ii) 「買い物支援ガイドブック」のアンケート調査と更新

宅配や移動販売を行う店舗等を一覧にした「買い物支援ガイドブック」の活用に関するアンケート調査を民生委員・児童委員、地域包括支援センターに対して行い、活用状況について把握するとともに、ガイドブックをより活用しやすいツールにするために調査結果を参考に仕様の改善と店舗情報の更新に向けた作業を行なった。

iii) 有識者会議の開催

買い物支援実践者や有識者などからなる有識者会議を開催し、現状の取組みに対するアドバイスを受け、取組みの改善やさらなる活動の多様化を図った。

日時	主な協議内容
10月25日	<ul style="list-style-type: none">・移動販売業者の撤退と対応について・複数校区をまたいだ移動販売について・移動販売の継続性について～下月隈団地・城浜校区の事例から～・買い物支援ガイドブックの更新とそれに伴う効果検証について・西区壱岐校区の買い物支援取組み状況について
3月15日	<ul style="list-style-type: none">・香椎東校区の買い物支援取組み状況について・西区壱岐校区の移動販売実施について・衣類の移動販売実施について・買い物先への送迎支援の課題について・移動販売におけるLINE活用の実証について・新規事業「福岡市移動スーパー参入促進費補助金」について・意見交換「買い物支援ガイドブックの更新について」・意見交換「買い物困難を感じている方へ、きちんと届ける個別配達 のあり方について」・企業向け買い物支援セミナーについて

iv) 地域が主体の買い物先への送迎事業の支援

香住丘校区（東区）が主体となって取り組んでいる買い物先への送迎事業に対し、持続的な取組みとなるよう車両の貸出やボランティアの確保等の支援を行なった。

② ふれあいネットワークやふれあいサロンといった他の地域福祉活動との有機的な連携

地域の会議や企業等との協議の場等で、買い物支援の取組みにより、重層的な見守りや交流、外出の動機づけ、閉じこもり防止、介護予防といった複合的效果が生まれることを発信し、見守りや居場所づくりなどの他の地域福祉活動との連携について働きかけを行なった。

③ ICTの仕組みづくりの検討

高齢者にも使いやすいICTの仕組みづくりについて、企業等との話し合いの場を持ち、具体的な対象地域での活用に向けて情報収集を行うとともに、対象地域へICTの活用についての意向を確認する等実施に向けた調整を行なった。

④ 協力企業・事業所の開拓

福岡市における買い物困難の課題の共有と買い物支援協力企業の開拓を目的に、35の企業・団体等の相談対応・訪問を行い、「買い物支援の福岡100PARTNERS」の登録企業・団体の増加につなげた。

(令和5年3月末現在33社 令和4年度新規登録3社・登録辞退2社 計1社増)

また、企業等の買い物支援に対する理解の促進、企業等同士がつながる機会づくり、買い物支援に協力する企業等の拡大などを目的としたセミナーを実施した。

[企業向け買い物支援セミナー]

実施日	内容	参加者
2月10日	(講話)「地域と事業者のいい関係づくり」 (事例紹介)「福岡市の買い物支援の取り組み」 (シンポジウム)「買い物支援実践事業者の話」 (グループワーク)「地域団体と取り組む買い物支援について」	23

(3) 「終活」支援

① 人生の終末期に向けた準備や自己実現の支援（一部福岡市委託事業）

終活に関する幅広いニーズに応じた情報提供等を行うため、終活全般の相談対応や情報提供を行う窓口を常設したほか、専門性の高い相談については弁護士等による予約制相談窓口を定期開設した。また終活に関する啓発や幅広いニーズに応えるため、出前講座を実施するとともに、福岡市からの委託を受け、終活の第一歩を考えるためのセミナーを開催した。

[終活サポートセンター 相談実績]

電話相談	849
来所相談 (うち予約制相談)	210 (93)
訪問等	33
合計	1,092

[終活出前講座] 【附属明細書：P.6（別表3）参照】

[終活応援セミナー]（福岡市委託事業）

	実施日（期間）	内容	形式	参加者（延べ）
第1回	7月8日～3月31日	エンディングノートの使い方 ～これからの人生をより良く 生きるために～	動画配信	1,519
第2回	11月25日	医師に聞いてみよう！“終活” のこと	対面	76
合計				1,595

② 死後事務委任に関する事業

i) ずーっとあんしん安らか事業

死後事務を委任できる親族がいない高齢者等が安心して生活できるよう、本人との死後事務委任契約に基づき、定期的な見守りや入退院の手伝いなどを行うとともに、契約者が死亡した場合には、事前に預かった預託金で葬儀・家財処分等の死後事務を行なった。

〔対応件数〕

相談	430
新規契約	5
現契約	76
入退院支援	27
自宅・病院への臨時対応	493
解約 (うち) 死後事務実施	9 (6)

ii) やすらかパック事業

「ずーっとあんしん安らか事業」の預託金の一括準備が困難な人等に対応できるよう、少額短期保険を活用した定額の利用料金の月払い制度により、死亡後の葬儀（直葬）、納骨（永代供養）、家財処分の費用等を保険金で対応し、死後事務を実施した。

〔対応件数〕

相談	322
新規契約	5
現契約	49
解約 (うち) 死後事務実施	3 (1)

(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

① 事業連携の拡充

社会福祉法人等との協働による、買い物困難者支援や移動困難者支援、認知症高齢者等検索サポート体制整備、生活困窮者等への食品提供、居室清掃活動等の地域課題を解決するための取組みなど、地域で求められるサービス等について、社会福祉法人等に提案し、仕組みづくりを支援した。

i) 事業所ネットワークの支援

地域の課題解決に向け、福祉・介護・医療・障がい等の専門職や事業所によるネットワークの構築や運営を支援した。また、CSWを中心に、地域の実情やニーズに応じて事業所ネットワークと地域とのコーディネートに取り組んだ。

ア 障がいのある方との交流を深める「ふれあい広場」の開催【東】

障がい福祉サービス事業所を中心に、特別支援学校や高校、企業等との連携・協力により、実行委員会方式で各種イベント、出店をイオンモール香椎浜店にて行なった。

実施日	内容	参加者
9月10日	<出店コーナー> ・障がい者福祉施設、事業所や作業所などで製作された商品の出店・販売 <ガラポンコーナー> ・協賛企業や参加団体からの提供品を中心としたガラポン抽選会を開催 <イベントコーナー> ・販売商品の紹介や参加団体の活動紹介動画を上映 ・協賛企業による福祉車両の展示	720

イ 福祉事業所等によるフードドライブ【東】

東区社協事務所において、東区役所の協力を得て、使用予定のない食材や生活用品を困窮世帯等に無償で提供する取り組みを令和4年11月に開始した。

なお、食材や生活用品の提供については、ふくおかライフレスキュー参加事業所へも協力を呼びかけている。

ウ 福祉施設が行う地域貢献サポート事業【博多、南】

区	内容
博多	令和元年度に施設の提供メニュー冊子を作成し配布。令和4年度は、それを基に車いす貸出の紹介等を行なった。
南	施設の提供メニュー冊子を窓口を設置し、区民への情報提供を行なった。

エ 事業所ネットワーク地域連携支援事業【早良】

区内の事業所ネットワークに対し、活動に必要な備品・消耗品購入費用助成を予定していたが、令和4年度は助成申請がなかった。

また、地域包括ケア推進のため、事業所ネットワーク・企業・大学等をふれあいネットワーク活動やサロン活動等地域福祉活動にコーディネートした。(25件)

オ 専門スタッフ派遣事業

ふれあいサロンや子育てサロン・サークル、校区社協の福祉講座等に対し、病院スタッフ、理学療法士、保育士、企業の出前講座などの専門スタッフの派遣をコーディネートし、プログラムの充実に向けた支援を行なった。

ii) ふくおかライフレスキュー事業への参画による個別支援機能の強化

社会福祉法人による「地域における公益的な取組み」として、福岡県社会福祉法人経営者協議会と福岡県社協が主管する「ふくおかライフレスキュー事業」に参画した。

[支援状況]

区	参加事業所数	地区連絡会回数	支援件数
東	7	4	9
博多	8	1	0
中央	7	1	2
南	5	1	0
城南	7	2	0
早良	12	6	2
西	14	2	0
合計	60	17	13

② 組織連携の拡充

種別協議会等の業界団体や関係機関等と連携し、福祉・介護の仕事の魅力を発信するプロジェクトに参画した。プロジェクトの取組みの一つとして、本会と福岡市老人福祉施設協議会の共催で、将来の介護の担い手となる子どもたちに福祉や介護について考えてもらうきっかけをつくることを目的に、介護に便利な「夢の福祉用具」のアイデアを描いた絵を募集する「カイゴ・ミライスケッチコンクール」を実施し、プロジェクトの市民啓発イベントにおいて、応募作品の展示や入賞作品の表彰式を実施した。

(5) コロナ禍を乗り越え、地域共生社会の実現を目指す実証実験

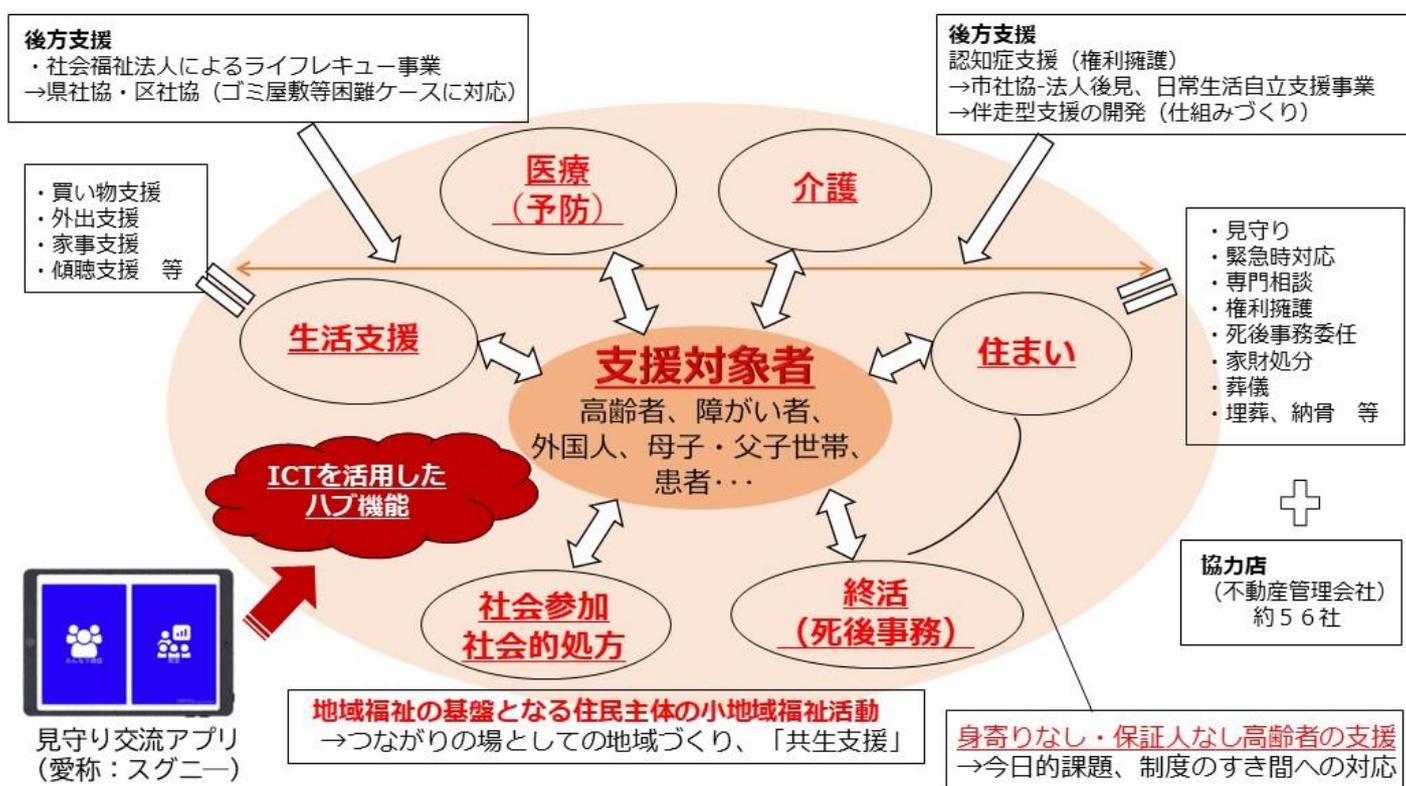
在宅要支援者と民生委員等の社会資源をICTでつなぎ、コロナ禍における高齢者のフレイル防止及び見守り機能強化を図ることで、孤独・孤立のリスクを抱える人を支えるセーフティ

ネットとなる、総合的なワンストップサービスの構築に向けたケアリングコミュニティ※1の研究とICTを利活用した実証実験に取り組んだ。具体策として、要支援者がサービスや活動につながりやすい、助けを求めやすい環境と、支援者側のスムーズな連携を図るツールとして「見守り・交流アプリ（愛称：スグニー）」を開発、住民説明会やアプリの試行機会を設定し、検証を行なった。

また、活用パターンを幅広く検証するため、「法人後見事業」や「終活サポートセンター」等の市社協各事業や、傾聴ボランティア活動での試行機会を設定し、効果検証を行なった。

(※)ケアリングコミュニティ：社会的孤立や社会的排除に向き合い、多様性を重視し、共生社会を目指して相互に支え合うことができる地域

2020年度 ニッセイ財団 高齢社会地域福祉チャレンジ活動助成採択 「コロナ禍を乗り越え、地域共生社会の実現を目指す実証実験」



(6) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

地域共生社会の実現に向けて、制度の狭間の問題など、新たな課題の解決にチャレンジし、「あきらめない福祉」を目指す組織体制を維持・発展させるため、組織内部の環境整備や財源確保策の検討・実践等を行なった。

① 多様な寄付の手法の開発と実践

毎月、定額をクレジットカード払いや口座引落としにより寄付する仕組み（マンスリーサポーター）を導入し、自主財源の確保に向け、ホームページ等の環境整備等を行なった。

② ファンドレイジングの基盤整備

継続的な寄付者を増やすためのアプローチ、寄付者との関係構築の強化、本会の取組みを可視化するため、情報を一元的に管理する「データベース」の活用やニュースレターの発行、活動報告会を行なった。

③ 「SDGs実践プラットフォーム」の構築

今後の福祉政策の基本方針である「地域共生社会の実現」と、かつてないほどの企業の社会貢献意識の高まりを動機付けている「SDGs（持続可能な開発目標）」が目指す「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」とが軌を一にしていることを捉え、企業等との連携による社会課題解決モデルを考案し、協働を働きかけた。

4. 権利擁護事業の拡充

(1) 持続可能な日常生活自立支援事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人たちが、地域で自立した生活が送れるよう、契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを支援した。

また、判断能力が著しく低下した利用者については、本会による法人後見受任による対応のほか、専門職による成年後見等につないだ。

[対応件数]

新規相談受付	209
新規契約	57
累計契約（平成12年1月～）	1,901

※事業開始からの累計解約件数1,563件（死亡・施設入所・成年後見制度への移行等による）

[現契約件数] 338件

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
111	71	155	1

(2) 権利擁護支援の地域連携ネットワーク強化と成年後見制度の利用促進（福岡市委託事業）

福岡市が設置した「福岡市成年後見推進センター」の運営を受託し、成年後見制度の普及・啓発及び相談対応、後見人等候補者の受任調整など、成年後見制度の利用促進に向けて取り組んだ。また、相談支援機関等からの相談に対し、専門職を現地に派遣し、成年後見制度の必要性や支援方針についての助言等を行う「専門職によるアウトリーチ派遣」を試行的に実施した。

① 相談対応

[延べ相談件数] 696件

うち、成年後見相談会（専門職による個別相談会） 35件/16回

② 後見人等候補者の受任調整

会議名	実施回数	審議事案件数	後見人等候補者の受任者調整件数
ケース検討会議(※1)	12	23	17
受任者調整会議(※2)	12	60	70

(※1) ケース検討会議…成年後見推進センターで相談を受けた案件のうち、成年後見制度の利用の可否や支援方針について専門職を交えて検討する会議。事案に応じて、後見人等候補者(職種)の調整も行う。

(※2) 受任者調整会議…福岡市における市長申立案件及び成年後見推進センターで相談を受けた案件について、後見人等候補者(職種)の調整を行う会議。

③ 専門職によるアウトリーチ派遣の試行（令和4年9月～令和5年3月）

[延べ派遣回数] 8回 [派遣専門職] 弁護士、社会福祉士

④ 出前講座・講演依頼等

[実施件数] 19件 【附属明細書：P.8（別表4）、P.21（別表14）参照】

(3) 本人を中心とした関係機関の連携・チームによる支援

福岡市成年後見推進センターにおいて、市内で権利擁護支援に携わる専門職団体、福祉・医療・地域の関係者、金融機関等が参画する「福岡市権利擁護支援ネットワーク協議会」を設置した。また、協議会としての次年度の取組みを検討するワーキンググループを設置し、取組み内容について協議する場を設けた。

①福岡市権利擁護支援ネットワーク協議会の開催

〔開催回数〕 1回 〔参加団体〕 15団体

②ワーキングの実施

〔開催回数〕 2回 〔参加団体〕 6団体

(4) 法人後見事業の推進と市民後見の充実

① 法人後見事業の推進

「日常生活自立支援事業」や「ずーっとあんしん安らか事業」等の契約者が、判断能力が低下した後でも安心した生活が送れるよう、「法人後見受任」等により、継続的な支援に取り組んだ。

また法人後見受任ケースを市民後見人等へ引き継ぐ場合、本会が後見等監督人を受任し、被後見人等が安心して生活できるよう支援した。

	新規受任	累計受任	現受任	内訳			終了
				認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	
法人後見	15	119	46	39	3	4	73
後見等監督人	2	2	2	2	0	0	0

② 市民後見人養成事業の推進（福岡市委託事業）

これまでに養成した市民後見人養成研修修了者で、法人後見業務の実務を通じて経験や知識を得て市民後見人として活動意欲のある者を「福岡市市民後見人候補者名簿」に登録し、3名が福岡都市圏で初めて市民後見人として個人選任された。

そのほかの修了者に対しても、法人後見事業の履行補助者（市民参加型後見人）として活動先を調整し、後見業務の実務や家庭裁判所に提出する書類作成業務等のOJT研修、援助スキルの向上や修了者相互の交流の場となる「市民後見人スキルアップ研修」を行い、技能定着や活動意欲の醸成を図った。

〔福岡市市民後見人候補者名簿登録者数〕 3人

〔市民参加型後見人バンク登録者数〕 53人

〔市民参加型後見人活動者数〕 19人

〔福岡市市民後見人スキルアップ研修（全2回）〕【附属明細書：P. 9（別表5）参照】

(5) 信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討

「成年後見制度」や「遺言」といった既存の制度ではカバーしきれない、障がいや引きこもりなど、生きづらさを抱えている人の「親なき後にどう備えるか」という問題に対応するため、生命保険信託と独自に開発する「身上保護」サービスや「友人的伴走支援」の仕組みを組み合わせた多様な主体との協働による新たな仕組みづくりの検討を進めた。

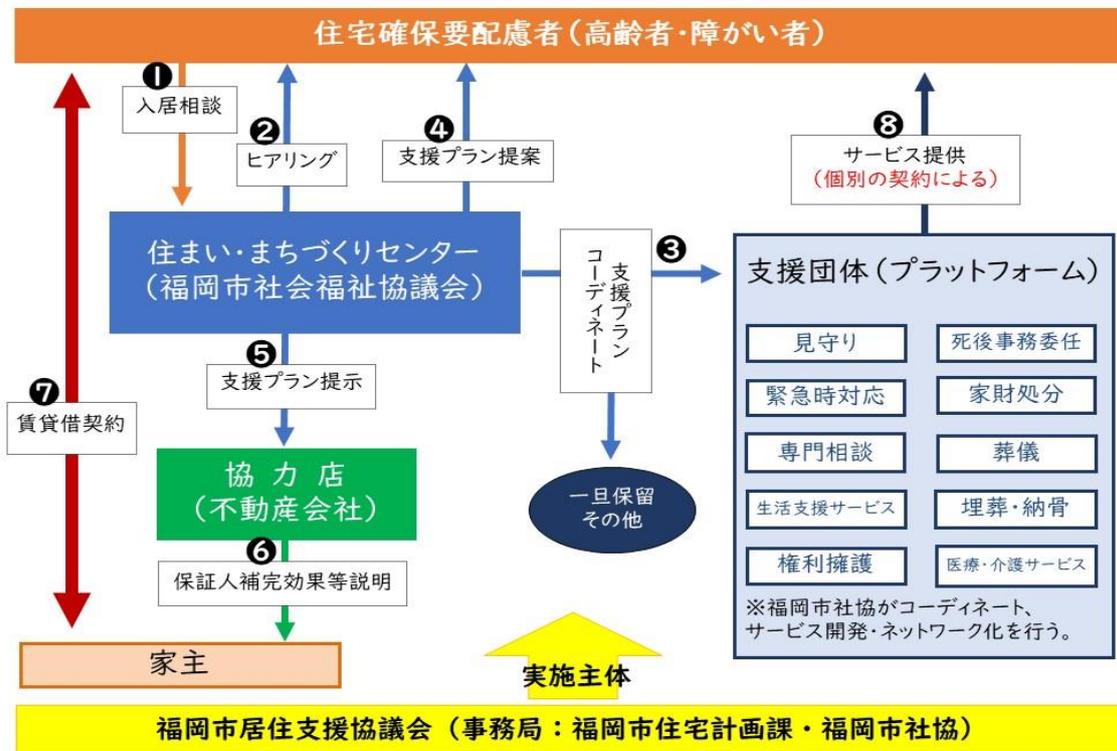
5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

(1) 「断らない相談窓口」の運営

高齢者・障がい者・社会的養護出身者・子育て世帯・低所得者などの住宅確保要配慮者を含め、誰もが安心して地域で生活が続けられる社会を実現するため、“住まい”と“日常生活支援”を一体的に提供し、安心して継続居住できるよう支援を行なった。

(2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）

住替えに困っている高齢者や障がい者世帯を対象に、入居支援と入居後の生活支援のコーディネートを行なった。また、民間賃貸住宅への入居に協力する不動産会社を「協力店」、入居中の様々な生活支援を担う団体を「支援団体」として登録し、「プラットフォーム」（事業運営の基盤となる仕組み）を運営した。



[登録・相談実績等]

協力店登録社数	支援団体登録数	相談受付数	賃貸借契約締結数
62社	14団体	489件	103件

[内数：障がい者の実績]

相談受付数	賃貸借契約締結数
146件	22件

(3) 居住支援法人事業の実施

住宅確保要配慮者（高齢者・障がい者を除く）を対象に、「法人後見事業」や「生活福祉資金貸付事業（転宅費）」等の市社協各事業間及び他の関係機関との連携を通じて、主に市内民間賃貸住宅への入居支援と入居後の生活支援をコーディネートした。

[相談実績等] 相談受付数：46件、賃貸借契約締結数：11件

(4) 制度の狭間を埋める社協ならではの分野横断的な役割の実践

「住まい」を基点に、制度の狭間に取り残されている課題の発見・整理や狭間を埋める手段を検証するとともに、課題の解消に向けて「多分野協働のプラットフォーム」の形成を図り、福祉や住宅など複数分野に横串を刺す居住支援策を展開した。



また、地域共生社会実現への重要なアプローチ手法である「多機関協働」「複合的課題を抱えるケースへのアウトリーチ」等を実践し、関係者との緊密な協力体制を構築することで迅速な転居支援を行なった。

(5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」

建築士、弁護士、司法書士、税理士、宅建士等の専門家からなる一般社団法人古家空家調査連絡会との共同事業として、建築や税務・法務などの課題に専門家がワンストップで対応する仕組みを運営し、「増え続ける空家・空室」を活用して、地域カフェや子ども食堂、シェアハウスや福祉サービス事業所など、今までに創出した事例の活動維持、新たな活用ケースの創出に努めた。

〔新たに開設した拠点〕

名称	活用開始時期	校区	活用方法
安心情報キット等 ストックヤード	令和4年6月	美和台校区 (東区)	安心情報キットの保管場所
村田さんち	令和5年2月	若宮校区 (東区)	子どもの孤独・孤立を解消するための居場所

① 「ひとつ屋根の下」活動【東】

福岡県建築士会福岡地域会が実施する、高齢者が居住する住宅の空き部屋を、大学生に安く貸し出し、互いに助け合いながら共生し、地域交流にもつなげていく「ひとつ屋根の下」活動について、ふれあいサロンと大学生との交流会の実施に向けて調整、助言し、交流会当日に参加した。

6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

(1) 個人情報の保護と活用

① 「地域福祉活動における個人情報共有化に関する取扱いの指針」の活用

本会で作成した指針を使用し、個人情報の保護と活用に関する正しい理解を促し認識の共有化を図るとともに、地域福祉活動における個人情報取扱いのルールづくりに取り組むきっかけとなるよう、弁護士や大学教授による出前講座を4か所で実施した。

区	校区	会合名等	参加者
早良	百道校区	ふれあいネットワーク研修会	16
	野芥校区	避難行動要支援者名簿共有における個人情報について	39
南	東花畑校区	ふれあい事業ボランティア交流会	21
	長住校区	ふれあいネットワーク研修会	39

(2) 福祉教育の推進

① 多様性を尊重する共生社会づくりに向けた福祉教育の推進

ボランティアセンター運営委員会や施設部会で今後本会が進めていく福祉教育のアンケート調査やプログラムの開発について意見交換と情報共有を行なった。

② 動画による魅せる化事業【南】

校区社協などの地域活動を動画により各種研修で紹介し、コロナ禍で対面による情報交換の機会が減少する中でも、情報共有し地域活動を発信するツールとして活用した。

③ 校区インタビューの実施【城南】

中村学園大学の学生が地域福祉や地域活動を学ぶことを目的に、学生が校区社協会長にインタビューし、校区社協の活動について学習する機会を設けた。

実施日	内容	参加者
6月24日 7月22日	校区社協会長講話・学生インタビュー	校区社協会長:2 学生:24

7. 地域福祉ソーシャルワーカー（CSW）の機能強化

(1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成

職員の力量を高めるため、職員研修体系に基づき、CSWのスキルアップに重点を置いた「地域福祉専門職研修」を企画・実施するとともに、引き続き外部研修への積極的な参加勧奨や社会福祉士等の資格取得を支援し、職員の資質と専門性の向上に努めた。

(2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ（自助）グループへの支援

様々な生きづらさや共通の課題を持つ人のつながりや交流の機会を創出するとともに、共感のなかで悩みを打ち明け、問題解決のために経験や情報を分かち合い、相談活動や社会に理解を広める活動を行うセルフヘルプ（自助）グループの支援に取り組んだ。

① 認知症高齢者や家族を支える取組み

i) 家族介護者のつどいの実施【附属明細書：P.10（別表6）参照】

寝たきり高齢者や認知症高齢者、障がい者等を家庭で介護している家族を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護者同士の交流、心身のリフレッシュを目的とした集いを17か所で実施した。

ii) 認知症高齢者の見守りの仕組みづくり

認知症高齢者の地域での生活を支えるため、福祉施設・事業所等と連携し、地域住民だけでは解決が難しい認知症高齢者への相談・対応や、福祉や介護に関する相談などを行うとともに、日頃の見守り活動や認知症高齢者声かけ訓練などでの連携を進め、地域全体で認知症高齢者を見守る仕組みづくりに努めた。

区	校区	内容
東	東箱崎 管松 香住丘 香椎 香椎浜 照葉・照葉北 (合同) 八田	東区地域保健福祉課、事業所ネットワークと共同で実施。事業所のスタッフが認知症役となり、認知症の方への声掛け体験を行なった。 内容をパッケージ化することで、各校区へ展開。
博多	板付北	校区内にあるタクシー会社と校区自治協が協定を結び、認知症サポーター養成講座を受けたタクシー運転手が道に迷った高齢者に声かけ、自宅まで送り届けた後、会館へ連絡をする「いまどこシステム」の仕組みづくりを支援した。協力者を増やすために、協力者募集用のチラシを作成して校区内の店舗等に協力を呼び掛けている。
中央	平尾	認知症をささえるやさしいまちづくり講座を実施。寸劇形式で、実際に町で認知症の方を見つけた時の対応を学んだ。
	簗子	認知症をささえるやさしいまちづくり講座を実施。圏域内であった事例をもとに在宅での支援をグループワーク形式で学習した。
	警固	認知症にやさしいまちづくり講座を実施。圏域ケアマネ会が実際に支援した事例の紹介とグループワークを行なった。
南	弥永	認知症で現在地や目的地などがわからなくなっている高齢者等を見つけた時に、適切に声をかけられるようにする訓練を実施した。商店街におられた一般の方に、高齢者役へ声かけをしてもらった。
城南	田島	町内の子ども会を対象に、同じ町内の高齢者が行方不明になったことを想定し、子ども達が介護の専門職の助言を受けながら高齢者の搜索、声かけを行う行事の実施。主催の校区社協が介護職の有志、町内の民生委員へも協力を呼びかけた。 実施の効果として、子どもが認知症等高齢者への声かけの力を身に付ける、近隣の店舗等も含めた広い見守り活動の推進、地元の住民や介護職の相互の関係づくりのきっかけとなった。
早良	早良区南部	世界アルツハイマーデーである9月1日に、地域住民に認知症やいきいきセンターを知ってもらうため、早良区南部の福祉事業所で組織されているネットワークである「よかとこネット」で、早良区南部の理美容店や企業を訪問して、認知症に関する冊子や認知症の方を見かけた時の対応に関するチラシを配布するとともに、高齢者の相談窓口であるいきいきセンターの周知を行なった。
西	周船寺	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため自治会ごとに小規模で訓練を実施した。避難行動要支援者名簿を活用した要支援者避難訓練と、認知症サポーター養成講座、認知症行方不明者搜索・声かけ訓練を行なった。

(3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化

① 包括的な支援の実施に向けた体制構築モデル事業（福岡市委託事業）

市社協本部に個別支援型のCSW（地域共生推進員）を3名配置し、分野ごとの制度では対応が難しい課題を、相談機関や地域資源等と連携し、アウトリーチ支援により解決するモデル事業に取り組んだ。今年度は城南区をモデル区とし、属性別の相談窓口に当てはまらな

い制度の狭間の課題を抱えたケースや、地域で孤立し支援が届いていないケースを把握している民生委員からの相談を受け、伴走型の支援を行なった。また、民生委員との同行訪問や助言等を行い、民生委員の負担軽減を図った。

また、制度の狭間の課題を解決する仕組みの必要性を共有するため、企業や大学、社会福祉法人、NPO法人など多様な主体が参加するシンポジウムを開催した。

〔地域共生シンポジウム〕

実施日	内容	参加者
2月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・トークセッション 「多様な主体がつながる価値を考える～強みのかけ算～」 ・グループワーク 参加者各人が捉える社会課題の認識を共有し、お互いの強みをかけ合わせることで、既存の仕組みではカバーしきれない領域にどのように取り組むことができるか、参加者と一緒に具体的に考えるワークを行なった。 	20

② 生活困窮者の課題解決に向けた関係機関との連携、支援

生活福祉資金の相談時に、離職者を対象とした総合支援資金等を希望する人には、福岡市生活自立支援センターの自立相談支援事業の利用をすすめるとともに、該当する貸付について受付を行なった。また、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大にともない収入が減少・途絶した世帯に対して、緊急小口資金(特例貸付)並びに総合支援資金(特例貸付)の相談や申込の受付を行なった(令和4年9月末で受付終了)。

〔福岡市生活自立支援センターとの相談連携件数〕

334件

〔新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の特例貸付(福岡市社協受付分)〕

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
緊急小口資金(特例貸付)	2,327	453,159,000
総合支援資金(特例貸付)	2,404	1,194,010,000
合計	4,731	1,647,169,000

また、フードバンク福岡から提供された食品を、区社協や福岡市生活自立支援センター等と連携し、生活困窮者の支援に活用した。

〔フードバンク福岡から提供された食品数〕

約3,500点

③ 地域包括支援センターの運営による個別支援機能の強化

地域において、地域包括支援センターの個別支援と社会福祉協議会の地域支援が融合するような実践を目指し、取組みを進めた。

i) 地域包括支援センター事業業務

総合相談・支援業務実績

実件数		510 件	【参考】市センター平均 496 件
延べ件数		3,198 件	3,377 件
相談内訳	保健	506 件	592 件
	福祉	89 件	112 件
	医療	262 件	303 件
	介護	1,716 件	1,782 件
	権利擁護	297 件	281 件
	その他	328 件	307 件

ii) 介護予防支援事業業務

介護予防給付請求件数

延べ 3,443 件 (月平均 287 件)

④ 「生活上のよろず相談会」の実施【早良】

早良区に居住又は通勤・通学している人を対象に、相続・遺言・生前贈与、成年後見制度、年金・社会保険、離婚、債務整理、交通事故等生活上の悩みに関する相談会を実施した。(相談は、弁護士・行政書士・社会保険労務士が対応。)

〔開催日時〕 毎週火曜日 16 時～17 時 30 分 (祝日、お盆、年末年始除く)

〔場所〕 早良区社協事務所 (※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため電話相談にて対応)

〔相談件数〕 6 件

①相談内容

相続	4 件
社会保険	0 件
住宅	2 件
その他(近隣トラブル)	0 件

②紹介経路

ふくしのまち福岡	6 件
その他(区役所等)	0 件

⑤ 区役所と連携した食料等提供支援事業の実施【博多】

博多区に関連する企業等 14 か所から寄せられた食料や生活用品をフードパントリーとしてストックし、博多区役所来庁者のうち、社会的・経済的に困難を抱える世帯からの相談に応じ食料等の配布支援を 286 件行なった。また継続的な事業展開のために、区役所職員を対象としたフードドライブを 1 回実施した。

(4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置

積極的に地域へ出向き、地域のボランティア等を介して、制度の狭間の課題を抱える人や支援が必要な人を把握する「アウトリーチ」による相談支援を進めるCSWを配置するとともに、各区社協に適切なCSW配置数を実現できるよう、関連する委託事業や人件費を含めた民間の実証実験事業に積極的に応募するなどして、組織的にCSWの人員配置の強化に努めた。

① 生活支援コーディネーター業務(福岡市委託事業)の実施によるCSWの機能強化

福岡市が地域包括ケア推進のため実施している「生活支援体制整備事業」の委託を受け、各区 1 名の生活支援コーディネーターを配置するとともに、その業務・経験を通して区社協のCSWのスキルアップと機能強化を図った。

地域支援のノウハウや地縁組織・ボランティアとの関係性を活かし、地域課題の把握や事業者等への参画を働きかけ、包括圏域や区域における社会資源の創出を支援するとともに、

特に買い物支援や地域包括支援センターとの連携を強化し、高齢者の地域での自立した生活を支える体制の構築を進めた。

多様な取組みの主な事例	主な支援内容
①孤立を防止する居場所や交流の場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で外出・会話の機会が少なくなった高齢者等の孤立感を軽減するため、町内単位のラジオ体操の取組を校区に広げるよう支援した。屋外での活動がコロナ禍において集まることの不安解消になった。 ・居場所への男性の参加が少ないことが課題であった地域において、地域包括支援センターとともに健康麻雀を通じた男性の居場所を提案し、居場所づくりにつながった。 ・高齢化率の高い集合住宅地域において、住民アンケートを基に地域でできることを検討し、企業や事業所ネットワークと連携して住民が楽しめる健康イベントを企画した。
②産学官民（※注1）による地域福祉活動の発展	<p>地域が主体の買い物支援（臨時販売・移動販売）や行方不明高齢者の捜索・声かけ訓練に地域の事業所や学校などをつなぐ支援をしたことで、生活課題の解決だけでなく新たな交流やつながりの機会の創出につながった。</p>
③食の支援に関する活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を含む生活困窮者からの相談の増加を受け、区役所と協力し企業等からの寄贈食品を相談者に配付する事業を立ち上げた。 ・ボランティア講座を実施し、生活困窮や食の課題を市民へ啓発し、新たな子ども食堂の担い手や食材等の支援活動につながった。
④公営住宅の建替えやコロナ禍での活動停滞に対する地域福祉活動の再建の取組み	<p>公営住宅の建替えやコロナ禍での活動停滞がきっかけとなり、町内ごとのネットワーク研修会や校区での座談会を提案することで、住民が自ら考える機会となり、見守り活動の見直しや校区の福祉まちづくりプランの作成、町内会ごとの避難訓練の実施につながった。</p>
⑤企業や大学との連携をきっかけにした担い手の発掘・育成	<p>見守り活動に協力するようになったガス検針員や事業所の職員、大学等で地域活動者から地域福祉活動を学んだ学生が地域活動者と顔が見える関係となり、登校時の旗振り活動への参加や、小学生を対象とした学習支援の場の参加につながり、新たな担い手の発掘・育成につながった。</p>

（※注1）産業界（民間企業）、学校（教育・研究機関）、官公庁（国・地方自治体）、民間（地域住民・NPO）の四者をまとめた表現。

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進

- (1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化
- (2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化
- (3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進
- (4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進
- (5) 多様な主体との連携・協働の推進
- (6) 校区社会福祉協議会強化への支援

① **校区社協の運営及び事業に対する助成・支援【附属明細書：P.12（別表7）参照】**

（共同募金校区社協助成金、共同募金地区福祉事業助成金、賛助会費交付金）
 区社協と協働し、校区の特性や実情に即した福祉活動を推進するために共同募金配分金を財源として、校区社協の事業運営を支援した。

〔助成額〕 64,463,896円

② **ふれあいランチへの助成・支援**

食事の準備が困難な高齢者や障がい者などに、地域住民がボランティアで週1～2回、食事を配ることにより、安否確認、各種相談等を行って交流を深める活動を区社協とともに支援した。

また、福岡市地域保健福祉振興基金等を財源として、活動費を助成した。

〔実施校区〕 東区美和台校区、南区若久校区 〔助成額〕 480,000円

③ **校区社協広報紙の発行に対する助成**

〔実施校区数〕 135校区 〔助成額〕 4,961,065円

④ **校区社協への研修バス等交流事業への助成**

交流・親睦や地域福祉に関する理解を深めることを目的としたバスハイクのバス借上げ料や研修会の開催費用を助成した。

〔助成校区数〕 東区：19校区（参加者数532人）

早良区：18校区（参加者数686人）、西区：2校区（62人）

⑤ **校区社協未設立校区に対する設立支援**

区	校区	内容
東	照葉北	・校区保健福祉懇談会にて、公民館と自治協に向けて校区社協の説明を行なった。
中央	警固	・公民館と連携し、校区社協総会に向けて準備を進めた。

(7) **安心情報キット、緊急時連絡カードの配付事業**

かかりつけの病院や緊急連絡先等の情報を書いた用紙を筒に入れて冷蔵庫で保管することができるキットを、一人暮らしの高齢者や障がい者等の地域で見守りが必要な人に配付した。また、見守り活動のツールとしても活用できる緊急時連絡カードを配布した。

〔安心情報キット配付者数〕 2,940人

〔緊急時連絡カード配布数〕 21,388枚

① **救急搬送時医療情報シートの普及促進【南】**

平成30年度から医師会と連携し、安心情報キットに救急搬送医療情報シートを封入する取組みへの協力を引き続き行なった。

(8) **民生委員児童委員協議会との連携**

共に地域福祉を推進する民生委員の活動を支援するため、民生委員児童委員協議会への活動費を助成した。

〔助成額〕 7,190,700円

(9) レクリエーション用具の貸出【東、博多、南、城南、早良、西】

地域活動等で活用できるレクリエーション用具の貸出を行なった。

(10) 地域カフェ支援事業【南】

施設と住民が協働し、施設職員や利用者、地域高齢者・住民、ボランティア等、誰もが気軽に立ち寄り、お茶などを飲みながら、会話や交流できる居場所（地域カフェ）を実施する団体に対して助成した。

〔支援状況〕 12校区20か所（参加者数4,864人）

2. ボランティアによる社会参加の拡大

(1) ボランティアの参加や裾野の拡充

① その他シニア世代のボランティア活性化の取組み

○講座・交流会の実施

実施日	内容	受講者
7月2日・9日・23日・30日	ボランティアのための傾聴講座	30
11月9日・12日・26日	傾聴スキルアップ講座	23

○イベントへの参加（ボランティア紹介ブースの出展）

実施日	内容
2月27日	福岡地区“70歳現役を目指す”高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会
2月23日	アラカンフェスタ

(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

(5) ボランティアのコーディネート及び活動情報の収集・発信

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関へ働きかけるとともに、ボランティア活動希望者が実際の活動に結びつくよう支援した。

① ボランティアコーディネーション事業

i) 個人ボランティア活動相談・登録

㊤活動相談(合計)	㊦対応状況	相談のみ	マッチング率(㊦÷㊤)
447	402 ※詳細(登録164、活動先紹介210、その他38)	45	89.9%

※㊦の詳細については、複数の活動先を紹介した場合、それぞれ1件とカウント

ii) ボランティア依頼

㊤依頼合計	㊦対応	延べ対応ボランティア数	マッチング率(㊦÷㊤)
825	725	1,731	87.9%

〔依頼内容〕

内容	件数	内容	件数	内容	件数
外出付き添い	347	遊び相手	38	その他	130
話し相手	60	点訳	100		
日常活動援助	50	家事援助	7		
行事援助	53	朗読	18		
技術・学習指導	21	託児	1		
合計					825

iii) 登録ボランティア内訳

	令和4年度新規登録者数	現登録者数
個人ボランティア	164	1,160
ボランティアグループ	7団体・91	202団体・5,167

② 施設等ボランティア情報の周知

市内の福祉施設で募集しているボランティアの情報をまとめた「施設ボランティア募集情報」を配布した。

③ ボランティア情報紙「風」発行

ボランティアセンターに寄せられたボランティア募集やイベント・講座情報、グループ情報などを掲載した情報紙を発行した。

〔発行回数〕 4回（3か月に1回発行）

〔発行部数〕 約1,700部/回

④ 芸能グループ情報冊子発行

ボランティアセンターで把握している芸能グループ（90団体）の情報をまとめた冊子を作成した。

(6) 各種ボランティア講座の充実

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを、各種講座を通じて養成した。

① 技術ボランティア養成講座

主に、視覚障がい者を対象とした技術を要する活動に参加するボランティアを養成するための講座を開催した。

実施日	内容	受講者
8月25日～11月24日(全13回)	音訳	24
9月3日・10日・17日・24日	視覚障がい者外出支援	19
1月14日	視覚障がい者外出支援（フォローアップ）	30
10月29日	テキスト訳	14
11月6日	テキスト訳体験	10
7月9日・23日 1月13日・14日・16日・20日	パソコン点訳体験(点訳グループ見学)	7
12月1日	点訳（フォローアップ）	83

② 課題別ボランティア養成講座

公的サービスでは対応することが難しい、多様な生活課題を抱える人の支援を行うボランティアを養成した。

実施日	講座内容	受講者
10月15日・22日	高齢者外出支援	9

③ 校区社協や公民館との共催による地域でのボランティア養成講座の開催

地域の支え合いや地域の課題解決に向けて、地域で活動するボランティアを養成するため、関係機関や関係団体と協力して養成講座を実施した。

区	延べ実施回数(回)	延べ参加者数(人)	主な内容
東	5	135	地域福祉活動に取り組む意欲を高める講座 認知症サポーター養成講座 ユマニチュード地域講座 孤立死予防を考える見守りボランティア向け講演会

博多	2	56	認知症サポーター養成講座
中央	1	20	認知症サポーターステップアップ講座
南	3	71	認知症サポーター養成講座、ボランティア研修
城南	実施なし		
早良	3	92	ボランティアの基礎研修、個人情報取扱に関する研修会
西	6	141	認知症サポーター養成講座、地域ボランティア研修

(7) 登録ボランティアグループへの支援

登録ボランティアグループの活動の推進・充実を図るため、状況の把握、課題解決の支援を行なった。

① 登録ボランティアグループの状況調査

「センター登録ボランティアグループ一覧」を作成した。

② 活動拠点・資材・情報の提供

ボランティアルームなどの活動室、印刷室、オンラインツール等の貸出を行なった。

〔件数〕 2, 392件 (延べ11, 271人利用)

③ 福岡市ボランティア連絡協議会への支援

社会福祉の推進を目的とした自主的な活動を支援するため、福岡市ボランティア連絡協議会へ活動費を助成した。

〔助成額〕 100,000円

④ 芸能ボランティアグループ情報の動画配信

福祉施設などで活動している芸能ボランティアグループの活動内容を知らせるため、59団体の芸能グループの動画を配信した。

⑤ ボランティアグループ向け研修

ボランティアグループ向けに「ボランティアのためのオンライン活用基礎講座」として、グループの活動や定例会等でのオンラインツール活用を目的に実施した。

〔実施日〕 3月2日 〔参加者数〕 22名

(8) 音楽レクリエーションボランティア支援事業【南】

音楽レクリエーションボランティアグループに南区のふれあいサロン等で活動してもらうため、楽器等の貸出を行なった。

〔貸出件数〕 7件

(9) ボランティア交流の日事業【中央、早良】

切手整理によるボランティアの交流会を実施し、企業や学生ボランティア、他区在住のボランティアの受入れも行なった。

区	実施日
中央	毎月15日(閉所日の場合は、直後の開所日) 14:00~16:00
早良	毎月8日(閉所日の場合は直後の開所日) 14:00~15:00

3. 社会課題解決モデルの開発と拡充

(1) 地域の子どもプロジェクト(一部福岡市委託事業)

(2) 買い物支援(一部福岡市委託事業)

(3) 「終活」支援

(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

(5) コロナ禍を乗り越え、地域共生社会の実現を目指す実証実験

(6) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

(7) ファミリー・サポート・センター事業の推進(福岡市委託事業)

子育て家庭が地域の中で孤立することなく、安心して子育てができるよう、地域において子育てを「応援して欲しい」「応援したい」人を組織化し、会員制による相互援助活動を広めた。

〔会員登録状況〕

依頼会員	提供会員	両方会員	合計数
4,286	1,035	498	5,819

〔活動内容及び回数〕

	活動内容	回数
1	子どもの習い事等の場合の援助	3,063
2	保育所・幼稚園の迎え	1,888
3	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,554
4	保護者等の買い物等外出の場合の援助	1,155
5	保育所・学校等休み時の援助	795
6	(その他)保育所・幼稚園の送り 保護者等の臨時的就労の場合の援助 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 等	4,031
合計		12,486

〔講習会・交流会等の実施〕

- ・依頼会員登録講習（支部：月～金曜日、本部：第3土曜日）
- ・提供・両方会員養成講習会（5回、受講者延べ370人）
- ・フォローアップ講座（2回、受講者延べ36人）
- ・7支部合同会員交流会（1回、参加者47人）
- ・提供会員・両方会員懇談会（11回、参加者延べ126人）

（8）子育てサロン・サークルの支援

子育てサロン・サークルの活動内容の充実や、子育て相談の場を設けることを目的とした、子育てサロン・サークルへの保育士派遣事業や講師派遣事業を実施した。

〔コーディネート件数〕博多：1件、早良：7件

① 子育てサロンへの助成【南】

〔助成状況〕助成団体数20団体〔助成額〕200,000円

（9）「子育てリフレッシュ事業」の実施【東・西】

区	実施日	内容	参加者
東	6月23日	子育て中の保護者を対象に、骨盤ストレッチ等の運動や交流により心身のリフレッシュを図る託児付きの講座を開催した。	保護者 21 託児 19
西	10月17日 10月24日	子育て中の保護者を対象に、骨盤ストレッチ等の運動や交流により心身のリフレッシュを図る託児付きの講座を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限をして開催した。	保護者 10 託児 11

4. 権利擁護事業の拡充

- （1）持続可能な日常生活自立支援事業の実施
- （2）権利擁護支援の地域連携ネットワーク強化と成年後見制度の利用促進（福岡市委託事業）
- （3）本人を中心とした関係機関の連携・チームによる支援
- （4）法人後見事業の推進と市民後見の充実
- （5）信託制度を活用した新たな権利擁護の仕組みづくりの検討

5. 居住支援の推進と空家・空室の活用

- （1）「断らない相談窓口」の運営

- (2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施（福岡市居住支援協議会事業）
- (3) 居住支援法人事業の実施
- (4) 制度の狭間を埋める社協ならではの分野横断的な実践
- (5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」

6. 地域福祉を推進するための基盤づくり

- (1) 個人情報の保護と活用
- (2) 福祉教育の推進（福祉学習教材の提供、出前福祉講座）

学校や、地域、市民、企業に対し、福祉やボランティア活動についての学習の機会を提供し、理解と関心を高め、福祉活動への参加の動機付けを図るため、障がい者疑似体験等を行う出前福祉講座を実施した。

※令和4年度も引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、高齢者疑似体験は中止した。

区	件数	主な内容	参加者
本部	18	車いす体験、アイマスク体験、講話 等	389
東	3	車いす体験、アイマスク体験、手話体験	469
博多	4	車いす体験、アイマスク体験、ユニバーサルデザイン等の学習	327
中央	2	車いす・アイマスク体験	222
南	4	車いす体験、アイマスク体験、ユニバーサルデザインに関する講話	334
城南	実施なし		
早良	5	車いす・アイマスク体験、視覚障がい者による講話、ユニバーサルデザインに関する講話	374
西	9	車いす体験、認知症キッズサポーター養成講座、地域福祉活動の講話、高齢者の特性について出前講座	597

- (3) 広報紙やホームページ等を通じた情報発信

① 広報紙「ふくしのまち福岡」の発行

福祉に関する様々な情報や本会事業、その他福祉やボランティアに関する情報を広く市民に紹介し、福祉に対する意識の向上を図るため、広報紙を発行・配布した。

〔発行回数〕 3回（第127号・第128号・129号）※市版及び7区版を発行

〔発行部数〕 358, 800部（第127号）

360, 280部（第128号）

376, 230部（第129号）

② 社協ワーカーだよりの発行

校区社協や民生委員をはじめ、地域福祉活動に携わる人や関係機関に対し、月1回「社協ワーカーだより」を発行し、市・区社協の職員（「社協ワーカー」）の役割を啓発するとともに、本会の活動内容の情報を発信した。

③ ホームページの運営

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、最新情報の発信を行なった。

- (4) 福祉のまちづくり推進大会の開催

実施日	会場	内容	参加者
11月11日	福岡市民会館	福祉活動紹介 中央区草ヶ江校区社会福祉協議会 「はなれてもつながる地域福祉活動の展開 ～草ヶ江校区社協の取り組み～」	500

(5) 市民福祉プラザの運営

① 貸室等運営【附属明細書：P.13（別表8）参照】

市民福祉プラザの各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように管理運営を行なった。

〔施設全体の利用延人数〕 204, 567人

② 障がい者作品展、利用団体写真展等の実施

i) 障がい者作品展

障がい者福祉の啓発を図るため、障がい者週間にあわせてレストラン内及びロビーで福祉団体・施設から寄せられた絵画や写真などを展示した。

〔実施日〕 令和4年12月1日～26日

〔参加数〕 7施設・団体 44作品

ii) ふくふくプラザ写真展

写真を趣味としてプラザを利用している高齢者団体を対象に、生きがい活動の支援と利用団体相互の交流を図ることを目的に、写真展を開催した。

〔実施日〕 <第1回> 令和4年5月31日～6月13日

<第2回> 令和4年6月15日～6月28日

<第3回> 令和4年6月30日～7月13日

<第4回> 令和4年7月15日～7月28日

〔参加数〕 8団体 128作品

iii) デジカメ写真入門講座

高齢者の社会参加を図ることを目的に、趣味として写真を始めたい人を掘り起こし、写真の知識や楽しさを学ぶデジカメ写真入門講座を開催した。

〔実施回数〕 2回（4日間） 〔参加数〕 延べ75人

iv) バリアフリー映画上映会

視覚や聴覚に障がいがある人もない人も共に映画を楽しむことができる音声や字幕のついた映画の上映会を開催した。

〔実施回数〕 1回 〔参加数〕 142人

③ プラザ相談員研修会の開催

実施日	内容	受講者
2月24日	「相談業務と個人情報保護」	16

④ とうにん・ふくふくコンサートの開催

ふくふくホールの「音響の良さ」を十分に活用し、「どなたでも良質な音楽を楽しめる」音楽会を、当仁校区自治協議会、当仁公民館、学校等と共催して開催した。

〔開催回数〕 2回3公演 〔参加者合計〕 660人

⑤ プラザ利用団体、地域団体等との懇談会

入居団体やプラザ利用団体と、施設運営に関する意見交換を行い、意見をふまえてプラザ運営の改善を行なった。また、地域団体との懇談会を開催し、地域とプラザの情報を共有し共通の問題等について協議した。

・プラザ入居団体連絡会（年6回）

・当仁校区自治協議会連絡会への参加（年7回）

・団体連絡室利用団体との懇談会（年1回 参加5団体）

(6) 市民福祉講演会の開催

「子ども・若者」「高齢者・認知症」問題等、市民に関心が高いテーマを選定し、市民へ福祉の啓発と福祉事業への理解を図ることを目的に講演会を開催した。

実施日	内容等	参加者
6月7日	「はなちゃんのみそ汁」～大切な人を亡くした後、どう生きますか～ 講師：ノンフィクション作家・映画監督 安武 信吾氏	128
8月10日	「言葉がつなぐ 絆の伴走」～絆で掴んだ銀メダル～ 講師：ホップ!ステップ!カムラック! 管理者 堀内 規生 氏	62
10月13日	「講談で学ぶ、成年後見制度」～安心して老後を迎えるために～ 講師：講談師 神田 織音 氏	103

(7) 福祉図書・情報室の運営

① 利用状況

内容	図書	ビデオ・DVD	インターネット貸出延長
蔵書数	31,016 冊	786 本	
利用状況(貸出数)	9,947 冊	519 本	1,216 件

[利用者数] 延べ24,444人(新規登録者数265人)

[レファレンス数(調べもの相談)] 627件

② 対面朗読サービス

視覚障がい者などが情報を得る方法の一つとして、福祉図書・情報室で登録ボランティアによる「対面朗読サービス」を提供した。

[利用者数] 延べ38人

(8) 福祉バス運営事業(福岡市委託事業)

高齢者、障がい者団体等の社会参加を支援するため、福岡市から委託を受けて、福祉バスの利用申込受付、旅行代理店への配車予約等を行うもの。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年8月から運行を休止していたが、令和4年9月16日から再開した。

[利用台数]

老人クラブ	障がい児・者団体	公民館高齢者教室	その他	合計
172	27	47	21	267

(9) 社会福祉事業従事者研修

福祉に関する知識や技術、組織の中での役割等についての理解を深めるため、民間社会福祉事業従事者や社会福祉関係団体職員を対象とした研修を実施した。

研修対象	研修事業名	受講者	
民間社会福祉事業従事者 社会福祉関係団体職員等	新任職員研修Ⅰ【社会人1年目】(2日間) ※	45	
	〃 Ⅱ【2～3年目】(2日間) ※	44	
	中堅職員研修(2日間) ※	41	
	リーダー研修(指導的職員)(2日間) ※	40	
	メンタルヘルスケア研修(一般職コース) ※	35	
	メンタルヘルスケア研修(管理職コース) ※	33	
	相談援助面接技術研修	37	
	救急法研修	第1回	37
		第2回	37
		第3回	32
		第4回	35
	福祉レクリエーション研修	第1回	39
		第2回	16
		第3回	20
第4回		23	

研修対象	研修事業名		受講者
	接遇研修	第1回	39
		第2回	39
	人権研修※		45
合計			637

※は、オンライン形式開催

(10) 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業【附属明細書：P.14（別表9）参照】

民間社会福祉施設などに従事する職員の福利厚生を推進を目的に事業を実施した。

加入契約法人数	施設数	加入職員数
131	179	5,215

(11) 保育士人材確保事業

福岡市内の保育士人材の確保を目的に、保育士が育児休業や産後休暇から復帰する際や、保育士資格を有するが保育士として勤務していない人（潜在保育士）への再就職支援のための貸付事業を実施した。

① 未就学児がいる保育士の子どもの保育料の一部貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
39	8,557,740	8,349,940

② 就職準備金貸付事業

貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
13	3,623,572	3,623,572

(12) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

「高等職業訓練促進給付金」を活用して養成機関に在学し、将来福岡県内において取得した資格を活かして就職しようとする「ひとり親家庭の親」を支援するため入学準備金や就職準備金の貸付けを行なった。

貸付種類	貸付決定件数	貸付決定額(円)	貸付金送金額(円)
入学準備金	20	10,000,000	10,000,000
就職準備金	16	3,200,000	3,400,000

(13) 社会福祉士相談援助実習受入

福祉分野で活躍する人材を育成するため、社会福祉士資格取得を目指す実習生の受入れを行なった。

〔期間〕 8月16日～9月16日 24日間

〔人数等〕 2人（久留米大学、福岡県立大学）

(14) 施設整備利子補助事業

社会福祉事業の振興を図るため、施設が福祉医療機構から借り入れた資金の利子支払いに対して、補助金を交付した。

〔対象〕 8法人・8施設 〔補助金額〕 477,264円

(15) 寄付金を活用した福祉のまちづくりの推進（共同募金配分、奉仕銀行等）

① 寄付受入・配分事業

i) 寄付の受入

本会に寄せられた寄付の受入れを行い、寄付者の意向に沿って本会事業で活用した。

[都度の寄付]

区分		件数	金額 (円)
市域の事業	① 市社協事業全般	45	2,574,277
	② 権利擁護事業	3	1,885,974
	③ 住まい・住まい方に関する相談支援事業	1	11,000
	④ 死後委任事務に関する事業	5	29,817,434
	⑤ 生計困難者に対する相談支援事業	3	57,000
	⑥ ボランティア活動振興基金	0	0
	⑦ その他	12	104,055
	小計	69	34,449,740
区域の事業	① 東区	7	653,598
	② 博多区	8	340,927
	③ 中央区	4	129,000
	④ 南区	3	90,000
	⑤ 城南区	10	257,111
	⑥ 早良区	14	319,671
	⑦ 西区	1	42,000
	小計	47	1,832,307
合計	116	36,282,047	

[毎月の寄付 (マンスリーサポーター)]

区分	件数	金額 (円)
市社協事業全般	378	1,047,500

(マンスリーサポーター：55名)

[寄付物品]

主な物品名	件数	金額 (円)
車いす、マスク 他	4	347,600

ii) 福祉団体への助成

市に寄せられた寄付金(補助金)を財源に、奉仕銀行助成金として団体に配分を行なった。

[件数] 2団体 [配分金額] 255,149円(備品購入費として配分)

② 福岡市母子福祉会芙蓉基金ひとり親家庭等福祉振興助成事業

ひとり親家庭等が孤立することなく生活できる地域づくりを支援することを目的として、ひとり親家庭等の福祉を増進し地域で支える取組みに対し、助成を行なった。

[助成団体] 4団体 [助成額] 600,000円

③ 歳末たすけあい運動募金配分事業

歳末たすけあい運動募金の配分を受け、子育て支援団体等が開催する事業等に助成した。

昨年度に引き続き、コロナ禍により、ひとり親家庭の困窮が深刻化していることを鑑み、書籍や文房具の購入の一助となるよう「お年玉企画」としてひとり親家庭に図書カードを配付する「ひとり親家庭支援事業」を実施した。

事業区分	対象者・団体	件数
助成事業	子育て支援団体	110
	障がい児者支援団体	69
	社会的課題支援団体	7
	交通遺児支援団体	1
	里親支援団体	1
	地域活動支援センター	10
社会的課題支援事業	ホームレス支援団体 (使い捨てカイロ配布)	6 (2,160パック)
	ひとり親家庭	500

(16) 車いす等の貸出

歩行が困難な高齢者、障がい者等の外出、通院、社会参加等を支援するとともに、学校・団体等の福祉体験学習等の福祉教育に資するため、車いす等を貸し出した。

7. 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

- (1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成
- (2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ(自助)グループへの支援
- (3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化
- (4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置
- (5) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に、世帯の状況や必要に応じた資金の貸付けを行い、低所得者等の経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉、社会参加の促進を図った。

① 貸付件数、資金別相談件数【附属明細書：P.16(別表10)参照】

② 臨時特例つなぎ資金(再掲)

公的給付制度の申請が受理された住居のない離職者を対象に、当該給付が開始されるまでの生活に必要な資金の貸付相談を行うもの。なお、令和4年度は貸付けの実績はなかった。

相談	受付	決定	貸付総額
46件	0件	0件	0円

(6) 生活保護世帯等一時貸付金事業(福岡市委託事業)

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対する貸付けを行なった。

区分	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
生活保護世帯分	2,777	31,379,700	29,870,300
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	0	0	0
離職者緊急支援つなぎ分	0	0	50,000
合計	2,777	31,379,700	29,920,300

8. 運営等及びその他

(1) 会務の運営(理事会・評議員会等)【附属明細書：P.17(別表11)参照】

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 評議員選任・解任委員会の実施
- ③ 監査の実施

(2) 部会の開催【附属明細書：P.19(別表12) 参照】

校区社協や民生委員、福祉施設関係者との連携・協働を図るため、運営部会を開催した。また、各区の事業推進や課題等について、地域性や実情を踏まえて審議するための機関である各区運営部会を開催した。

(3) 各区校区社協会長会等の開催

校区社協との連携・協働により、地域福祉の推進を図ることを目的として、市域での地域福祉部会、及び各区校区社協会長会を開催した。また、民生委員、社会福祉施設関係者との連携・協働を図るため、民生委員児童委員部会及び施設部会を開催した。

(4) 職員の資質向上と人材育成（職員研修、資格取得への支援）

職員研修体系に基づいた職員研修を実施するとともに、社会福祉士等の資格取得を支援し、職員の資質と専門性の向上に努めた。また、メンター制度を導入し、若手職員等のキャリア形成上の課題解決を援助し、個人の成長を支えるとともに、職場内での問題解決をサポートする体制づくりを行なった。

(5) 人事評価制度の実施

人事評価制度に基づき、人事考課を実施し、職員の育成や配置等に活用した。

(6) 財源の確保（会員の拡充、寄付つき商品の開発等）

寄付つき商品の仕組みを運用するなど自主財源の確保に努めた。

① 寄付つき商品の開発

社会貢献を希望する企業等とともに、本会への寄付つき商品を開発した。

企業名	寄付内容	実績
株式会社ラック 覚書締結日：H25. 6. 18	「ずーっとあんしん安らか事業応援プロジェクト」 市内在住者施行1件につき200円	2,085件 417,000円
翼行政書士・ 社会福祉士事務所 覚書締結日：H26. 12. 4	「ずーっとあんしん安らか事業応援隊・翼」 新規相談・依頼1件につき200円	112件 22,400円
株式会社Q T n e t 覚書締結日：H28. 5. 19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げ1本につき10円 ※令和元年10月から、寄付額＝本数×9.26円(税抜)×1.1	13,728本 139,834円
一般社団法人 プラスらいふサポート 覚書締結日：H28. 8. 26	「介護施設の入居・身元保証支援」プロジェクト 身元保証の相談1件につき1,000円	11件 11,000円
宗教法人 清法山 徳純院 覚書締結日：H30. 1. 1	「ずーっとあんしん納骨堂」 本会を含む福祉関係者より紹介・案内があり、納骨につながった場合 1件につき1,000円	10件 10,000円
株式会社 大原キャリアスタッフ九州 覚書締結日：H30. 11. 19	「社会をよくする自販機プロジェクト」 自販機売り上げの2%	1件 5,966円
一般社団法人えにしの会 覚書締結日：R1. 8. 6	「あんしん身元保証プロジェクト」 身元保証の契約1件につき2,000円	100件 200,000円
合計		806,200円

※平成25年7月事業開始からの累計7,305,677円

② その他の財源の確保

内訳	金額 (円)
会費 (正会費)	1,832,000
会費 (賛助会費)	23,994,000
広報紙広告	685,000
車いす等貸出料	7,300
外部講師謝礼	322,442
実習生受入謝礼	96,000
使用済み切手売却益	192,000
合計	27,128,742

(7) 収益事業の実施 (市民福祉プラザレストラン運営、自動販売機の設置)

プラザ利用者の利便性を図るとともに、収益金をプラザ福祉啓発事業及び本会事業に活用した。

(8) その他の社協事業

① 戦災引揚死没者追悼式

昭和20年6月19日の福岡大空襲による戦災死没者及び海外からの引揚げの途中で亡なられた人の冥福を祈り、恒久平和への誓いを新たにすため、例年、地域団体とともに死没者追悼式を開催していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、式典は行わず、「福岡市戦没者追悼献花式」に参加した(福岡市と共催)。また、福岡市戦災記念碑前にて本会職員と冷泉公民館・自治協議会の有志による清掃・献花を行なった。

実施日	会場	参加者
6月19日	福岡市庁舎1階ロビー	市長、本会常務理事、遺族会連合会会長、市議会議員 ほか
6月19日	福岡市戦災記念碑前 (博多区冷泉公園内)	本会職員、冷泉公民館・自治協議会関係者 12人

② 福岡市社会福祉協議会顕彰

社会福祉増進のため意欲的に活動を続け、その功績が顕著な個人、団体に対し表彰を行なった。

〔福岡市社会福祉協議会会長 表彰〕 259人・31団体

〔福岡市社会福祉協議会会長 感謝状〕 170人・37団体

③ 福祉サービス苦情解決

本会が実施する福祉サービスの内容をより充実するため、利用者の苦情や意見を幅広く汲み取り、苦情解決に取り組んだ。

④ 友愛訪問事業

福岡市老人クラブ連合会の友愛訪問事業に対し、活動費の助成を行なった。

〔助成額〕 2,422,734円

⑤ 更生保護施設助成事業

更生保護の推進を目的とした活動を行っている団体に対して、助成を行なった。

〔対象〕 3団体

〔助成額〕 1,830,000円

⑥ ふれあい入浴事業

高齢者の健康増進や交流を目的とする「ふれあい入浴事業」の活動を支援するため、市内の公衆浴場に対し、福岡市の補助金を財源として活動費の助成を行なった。

〔助成箇所数〕 11か所

〔助成額〕 4,080,000円

⑦ **視察の受入【附属明細書：P.21（別表13）参照】**

団体等からの依頼に応じて視察の受入れを行なった。（延べ17団体、91人）

⑧ **講演等の依頼【附属明細書：P.22（別表14）参照】**

団体等からの依頼に応じて講演等を行なった。（延べ36団体、3,135人）

令和4年度 事業報告

【附属明細書】

・別表 1	子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）	1
・別表 2	地域が主体の買い物支援	4
・別表 3	終活出前講座	6
・別表 4	成年後見出前講座	8
・別表 5	福岡市市民後見人スキルアップ研修	9
・別表 6	家族介護者のつどい	10
・別表 7	校区社協の運営及び事業に対する助成・支援	12
・別表 8	市民福祉プラザ貸室等利用状況	13
・別表 9	民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業	14
・別表 10	生活福祉資金貸付事業	16
・別表 11	会務の運営	17
・別表 12	部会の開催	19
・別表 13	視察の受入	21
・別表 14	講演等の依頼	22

※特に記載がない場合、文中、グラフ・表中の数値は令和5年3月31日現在のもの。

※「中止」「休止」は、新型コロナウイルスの影響によるもの。

別表1 子どもの居場所（区社協が支援した居場所づくり）

校区・地区		名称	主な機能		
			居場所	食事提供	学習支援
東	美和台	ななカフェ♡こども食堂	○	○	
		立花サロン “のんびり”	○		
	香椎浜	かしいはま子どもの家ぽてとほうす	○	○	
	舞松原	舞♡my キッチン	○	○	
	箱崎	ぽあんの樹	○	○	○
	香椎	えがお広場	○	○	
		香住丘	香住丘すまいるキッチン	○	○
	香椎下原	夜の香住っ子ひろば	○	○	○
		しもばる広場	○	○	○
	香椎	みんな食 Minna	○	○	
		管松	はらだ2丁目食堂	○	○
	馬出	「子どもサポート・ナルド」馬出こども食堂	○	○	○
	青葉	なかよしキッチン	○	○	
	多々良	ベリーベリーグッドランド	○	○	
		はあとスペース「まちかど図書館」	○	○	
	名島	ふくふく子ども食堂	○	○	
		名島げんきもりもりハウス	○	○	○
		ほぼしらみんなのふね	○	○	
	和白東	アソシエキッズわひがのWa	○	○	
	若宮	フリースペース若宮	○		
村田さんち		○			
香椎東	愛い空食堂	○	○		
照葉	照葉っ子広場	○		○	
博多	那珂	山王学舎こども食堂	○	○	○
	東住吉	麻生塾子ども食堂すみーる	○	○	○
	板付北	いたきたこども食堂	○	○	
	大浜	おおはま寺子屋			○
	弥生	やよいの森	○		
	席田	げんき堂こども食堂	○	○	
	堅粕	ワンコインレストラン「ハーモニー」	○	○	
	東吉塚	東吉塚学習支援			○
中央	大名	グランマキッチンカフェ	○	○	
	箕子	子ども食堂『絆』	○	○	○
	笹丘	笹丘ふれあい食堂笹カレー	○	○	○
		わくわく広場	○	○	○

校区・地区		名称	主な機能		
			居場所	食事提供	学習支援
中央	笹丘	たんぼぼこども食堂	○	○	○
	当仁	海と空のひろば		○	
		まるけん子供食堂		○	
		福岡国際子ども食堂×居場所	○	○	○
	赤坂	つくってたべて話す会	○	○	
		多世代型子ども食堂タマリバ	○	○	○
	警固	夢食堂		○	
		キラキラえがお Fukuoka こども食堂	○	○	○
	平尾	こども食堂 CIRCLE	○	○	○
六本松	虹色子ども食堂	○	○		
春吉	H. A. R. U		○		
南	長住	子ども勉強広場	○	○	○
		ドリームパスポート	○	○	
	西花畑	校区みんなの誕生会	○	○	
		ひばるん子ども食堂	○	○	○
	三宅	ハレルヤ食堂	○	○	○
	西高宮	こひつじの園ランチカフェ	○	○	○
	東若久	子どものための自学室	○		○
		町内自学塾	○	○	○
	弥永西	やにしスマイル	○	○	○
		子ども基地ツリーハウス	○	○	○
弥永	みんなのカレー食堂弥永保育園		○		
大池	大池子ども食堂	○	○		
城南	七隈	ななっこ料理道場	○	○	
	田島	ちゃちゃの会	○		
	金山	コドモテラス in かなやま	○	○	○
	堤丘	心笑食堂	○	○	○
	長尾	わくわくレストラン	○	○	
	別府	別府子ども食堂		○	
早良	有田	こども食堂さい	○	○	
	大原	大原すまいるキッチン	○	○	○
	四箇田	さわら子ども食堂	○	○	
	内野	こども食堂YOKAYOKAネット	○	○	○
		つくって食べよう土曜昼!	○	○	○
	野芥	バリバリキッチン	○	○	
入部		みんなのおうち ゆい	○	○	○

校区・地区		名称	主な機能		
			居場所	食事提供	学習支援
早良	百道	三好こども食堂	○	○	
西	壱岐東	こども食堂「いきひがし」	○	○	
	城原	地域食堂「タベルバ」	○	○	○
	壱岐南	学 viva	○	○	○
	今宿	ひまわりさんさん広場		○	
	石丸	石丸食堂		○	
	西陵	西陵校区社協こども食堂	○	○	
		寺子屋せいりょう	○		○
城原	こども食堂わきた	○	○		

別表2 地域が主体の買い物支援 ※試行実施含む

区	校区	地区	内容	協力企業・施設等	開催延べ回数
東	青葉	みどりが丘1～3丁目自治会	買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	7
		土井団地2区自治会	買い物先への送迎	原土井病院	※休止
		青葉台自治会			※休止
		土井団地2区自治会	臨時販売	久本青果、特別養護老人ホームなごみの里	8
		青葉台自治会			株式会社大輝、久本青果、(株)ふくや、特別養護老人ホームなごみの里
	八田	若宮1-1自治会	買い物先への送迎	特別養護老人ホーム光薫寺ビハラー	5
		緑ヶ丘自治会			6
	香椎浜		買い物同行	ボランティアグループ	※休止
	香椎東		買い物先への送迎	ボランティアグループ	24
		松香団地自治会/香椎宮前団地自治会/宮の台自治会	移動販売	あいがての樹	23
	城浜		移動販売	あいがての樹、筑前はかたや	12
	多々良	大橋浜田自治会	買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	8
	若宮		買い物先への送迎	株式会社彩苑、福岡シティ物流株式会社	5
	和白	和白3区自治会	買い物先への送迎	株式会社メモリード	※休止
	香住丘	唐原市住/唐原東市住	移動販売	あいがての樹	23
			買い物先への送迎	さんすまいる唐原、香椎ヶ丘リハビリテーション病院、杜の家、デイサービス東、エブリワーズ・ストーリー、たかもとホームクリニック、CoCo.com、あおぞらの里	152
		美和台	移動販売	筑前はかたや	52
奈多		雁の巣自治会	買い物先への送迎	東福岡和仁会病院	1
博多	席田	大井町内	移動販売	久本青果	47
		東平尾町内			50
	東光	東比恵	移動販売	ポパイ	50
		東比恵	移動販売	医療法人ながら医院、道の駅あさくら、ひよこ本舗吉野堂、アダパン	22

区	校区	地区	内容	協力企業・施設等	開催延べ回数
	月隈	金隈新町	買い物先への送迎	医療法人相生会金隈病院	※休止
	東月隈	下月隈団地	買い物先への送迎	アットホーム博多の森、愛心の丘	※休止
			臨時販売	株式会社大輝、筑前はかたや、榎ふくや、あおやぎ	24
	板付		買い物先への送迎	アットホーム諸岡	※休止
中央	小笹	小笹1丁目 小笹3丁目2区	買い物先への送迎	株式会社やぐらもん	19
	笹丘	輝国/小笹4丁目/笹丘3丁目	買い物先への送迎	株式会社やぐらもん	7
	福浜	福浜団地1・2・3棟 自治会	買い物同行	西日本短期大学	3
南	東花畑		買い物先への送迎	総合葬祭西日本典礼やよい坂斎場	5
			移動販売	筑前はかたや	46
	長丘		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	10
	西高宮		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	9
	鶴田	柏原東町内会	買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	2
		鶴田3区町内会	移動販売	筑前はかたや、ベーカリーチャンプ、豆吉郎	51
	柏原		買い物先への送迎	株式会社飛鳥 飛鳥会館	2
				ボランティアグループ	※休止
西花畑		買い物先への送迎	デイサービス絵日記	※休止	
早良	入部		買い物先への送迎	さώρα南よかここネット	11
		さώρα台団地			21
		重留3丁目自治会	移動販売	株式会社とくし丸	48
	早良		買い物先への送迎	さώρα南よかここネット	47
	脇山	椎原町内	買い物先への送迎	さώρα南よかここネット	49
西	能古	能古清和園	移動販売	セブンイレブン小戸4丁目店	※休止
			移動販売	のこのしまアイランドパーク、のこの市	96
	元岡	田尻東・田尻西・桑原・泉東	買い物先への送迎	特別養護老人ホーム寿生苑、軽費老人ホーム玄洋荘、特別養護老人ホーム美の里、デイサービスよかよかⅡ	※休止
	壱岐	ウエストヒルズ自治会・ネアシティガーデン自治会	移動販売	移動スーパーいと丸くん	24

別表3 終活出前講座

実施日	会合名等	開催場所	参加者 (人)
4月6日	ふれあいサロンハロークラブ	姪浜駅南集会所	21
5月10日	春吉校区男女共同参画協議会	春吉公民館	22
5月19日	福岡ソーシャルワークラボ	オンライン	15
6月4日	ふれあいサロンサン友会	生の松原サンハイツ集会所	40
6月7日	ふれあいサロンあじさいの会	田隈小学校ふれあいルーム	30
6月18日	東花畑校区福祉ボランティア講座	東花畑公民館	30
6月19日	愛宕浜校区社協 終活講座	愛宕浜公民館	25
6月19日	谷一カフェ	谷一カフェ	6
6月21日	姪浜校区男女共同参画協議会	姪浜公民館	15
7月6日	ふれあいサロン彩都の会	室見が丘集会所	15
7月11日	ふれあいサロンよかとれ生松会	生の松原集会所	18
7月12日	愛宕浜校区社協カフェ	愛宕浜公民館	2
7月13日	ふれあいサロンむつみ	生松台第3集会所	20
8月20日	平尾校区男女共同参画協議会	平尾公民館	10
8月25日	南第7いきいきセンター	南第7いきいきセンター	8
9月2日	ふれあいサロンたんぽぽ	弥永公民館	25
9月12日	カフェかすみ	香住丘公民館	22
9月20日	サロン和 (なごみ)	西の一集会所	12
9月21日	柳河内地域カフェ いこいの縁側	東若久校区老人いこいの家	20
9月24日	板付校区社協	板付会館	30
10月3日	ニュー千早カフェ	ニュー千早団地集会所	20
10月10日	きんしゃいふれあいサロン	草ヶ江公民館	20
10月19日	天使の鈴 友の会 (認知症カフェ)	認知症カフェたまり場	6
10月20日	なかよしグループ	福浜団地A棟集会所	10
10月21日	ふれあいサロン香椎ヶ丘	香椎ヶ丘会館	20
10月24日	高木校区社協	高木公民館講堂	35
10月25日	鶴田公民館	鶴田公民館	20
11月6日	いるべ福祉フェスタ	入部公民館	1
11月7日	貝塚団地ふれあいサロン	貝塚団地集会所	10
11月8日	愛宕浜校区社協カフェ	愛宕浜公民館	3
11月15日	南区地域保健福祉課 (市民啓発講座)	南市民センター	30
11月17日	城浜公民館 健やかサロン	城浜公民館	30
11月18日	サロンみどり	高宮庭園茶寮 (高宮南緑地)	27
11月22日	一般社団法人実践倫理宏正会 ひだまり会	福岡倫理会館	30
11月25日	若久カフェ	老人福祉センター若久園	20

実施日	会合名等	開催場所	参加者 (人)
12月3日	男女共同参画を進める会	玄洋公民館	25
12月5日	公民館主催の講座	野多目公民館	30
12月16日	公民館高齢者教室	東花畑公民館	20
12月20日	南当仁公民館 こうじゅ大学	南当仁公民館	20
12月22日	下月隈団地ふれあいサロン	下月隈団地集会所	37
1月10日	愛宕浜校区社協カフェ	愛宕浜公民館	3
1月23日	ふれあいサロン	有田公民館	20
1月26日	ふれあいサロンにんじん畑	東住吉公民館	15
1月30日	南11いきいきセンター主催講座	南区役所講堂	60
1月31日	堤丘校区社協 ふれあいネットワーク研修会	堤丘公民館	19
2月9日	ふれあいサロンひまわり	市営住宅集会所	14
2月11日	九州民放OB会	中央市民センター	15
2月16日	オレンジカフェ西高ゆるり	特養市崎の杜	10
2月18日	3区サロン	ローズハウス	15
2月20日	メロウくらぶ	オンライン	10
3月4日	中央区在宅医療に関する市民公開講座	あいれふ 講堂	62
3月9日	おーる DE♡なな	美和台7丁目集会所	25
3月9日	中央区民児協	あいれふ 6F	14
3月10日	ふれあいサロンさつき会	きよみ立体橋の下	40
3月14日	愛宕浜校区社協 カフェ	愛宕浜公民館	2
3月23日	かふえざっしょ	麦野会館	10
3月23日	中央区第6地区民児協	南当仁公民館	26
	合計	57件	1,160

別表4 成年後見出前講座

実施日	依頼団体	開催場所	参加者（人）
8月25日	春吉校区民生委員・児童委員協議会	春吉公民館	20
10月19日	若久特別支援学校	若久特別支援学校	25
11月13日	西区精神障がい者家族会	西障がい者フレンドホーム	7
11月24日	香椎東校区民生委員・児童委員協議会	香椎東公民館	16
1月27日	南区健康課	南区保健福祉センター	10
2月20日	老司校区社会福祉協議会	老司公民館	60
3月1日	横手校区社会福祉協議会	横手公民館	27
3月8日	風ひかり作業所家族の会	早良南地域交流センター	30
	合計	8件	195

別表5 福岡市市民後見人スキルアップ研修（全35科目）

実施日	内容	市民参加型受講者（人）
11月24日 （対面及び オンライン）	① オリエンテーション ② 市民参加型後見人 業務マニュアル説明 ③ 認知症について ④ コミュニケーションの基本	22
12月19日 （対面及び オンライン）	⑤ 市民参加型後見人 活動報告 ⑥ 市民後見人 活動紹介 ⑦ 研修の振り返り	25

別表6 家族介護者のつどい

区	校区・町内・団体	実施日	会場	参加者(人) (介護者のみ)
東	東区小規模多機能 ネットワーク	5月18日	東保健所	49 (11)
		11月29日	香椎公民館	
		2月28日	コミセン和白	
	香陵	2月18日	香陵公民館	19 (0)
	西戸崎	3月21日	西戸崎公民館	12 (2)
博多	板付北	8月25日	板付北公民館	21 (7)
	弥生	11月16日	弥生公民館	13 (9)
中央	小笹	2月28日	小笹公民館	10 (2)
南	西花畑	5月23日	西花畑公民館	40 (8)
		8月30日		
		10月25日		
		1月26日		
	大楠	6月16日 10月20日 2月16日	大楠公民館	60 (45)
横手	8月20日 2月20日	横手公民館	50 (40)	
	野多目	11月25日	野多目公民館	34 (20)
	老人福祉センター 若久園	毎月1回 (第4金曜)	老人福祉センター若久園	84 (12)
城南	七隈	7月16日	七隈公民館	20 (8)
		10月15日		
		1月28日		
	城南区社協	8月5日 1月6日	城南保健所	14 (9)
	田島	9月10日 2月4日	よりあいの森	21 (9)
早良	野芥	毎月1回 (第3金曜)	野芥公民館	24 (20)
	飯原	毎月1回 (第1水曜)	飯原公民館	20 (20)

区	校区・町内・団体	実施日	会場	参加者(人) (介護者のみ)
早良	有田	2月17日	有田公民館	25 (0)

別表7 校区社協の運営及び事業に対する助成・支援

区	区分	助成校区数	金額（円）	備考
東	共同募金校区社協助成金	28	4,824,310	
	共同募金地区福祉事業費助成金	28	3,852,187	
	賛助会費交付金	27	5,062,000	前年度実績の50%を助成
博多	共同募金校区社協助成金	22	3,966,200	
	共同募金地区福祉事業費助成金	22	4,172,500	
中央	共同募金校区社協助成金	13	2,434,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	13	3,738,400	
南	共同募金校区社協助成金	25	4,340,879	
	共同募金地区福祉事業費助成金	25	4,374,900	
	賛助会費交付金	25	3,828,300	前年度実績の70%を助成
城南	共同募金校区社協助成金	11	2,048,000	
	共同募金地区福祉事業費助成金	11	2,798,970	
早良	共同募金校区社協助成金	24	4,169,500	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	3,677,800	
	賛助会費交付金	24	3,432,600	前年度実績の60%を助成
西	共同募金校区社協助成金	24	4,219,900	
	共同募金地区福祉事業費助成金	24	2,698,200	
	賛助会費交付金	20	825,250	前年度実績の50%を助成

別表8 市民福祉プラザ貸室等利用状況

区分		利用状況	
貸出施設	ふくふくホール	利用日数	235 日
		利用者数	25,846 人
	会議室 (3室)	利用日数	979 日
		利用者数	29,958 人
	研修室 (7室)	利用日数	2,188 日
		利用者数	73,754 人
	和室・実習室 (7室)	利用日数	1,312 日
		利用者数	25,398 人
	交流ひろば	利用日数	226 日
		利用者数	6,261 人
計	利用日数	4,940 日	
	利用者数小計	161,217 人	
その他の施設	福祉用具展示場	利用者数	7,408 人
	施設見学	団体数	24 団体
		利用者数	514 人
	ボランティアルーム等	利用件数	2,360 件
		利用者数	10,984 人
	福祉図書・情報室	開室日数	339 日
		利用者数	24,444 人
		新規登録者数	265 人
		貸出冊・本数	10,466 冊
		対面朗読	38 件
計	利用者数小計	43,350 人	
利用者総数		204,567 人	
開館日数		345 日	
1日平均利用者数 (利用者総数/開館日数)		593 人	

別表9 民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

(1) 給付事業

内容		決算額	
種別	単価(円)	件数	金額(円)
結婚祝金	30,000	85	2,550,000
出産祝金	30,000	161	4,830,000
入学祝金	30,000	248	7,440,000
義務教育修了祝金	30,000	138	4,140,000
死亡見舞金		87	2,674,000
本人	100,000	2	200,000
被扶養者	70,000	6	420,000
その他	26,000	79	2,054,000
傷病見舞金		25	640,000
15日以上	20,000	18	360,000
31日以上	40,000	7	280,000
災害見舞金		0	0
全焼(壊)	100,000	0	0
半焼(壊)	70,000	0	0
その他	30,000	0	0
小計		0	22,274,000
退会一時金	支給率で算出	736	75,535,797
合計		1,480	97,809,797

(2) 貸付事業

内容		決算額	
種別	貸付限度額(円)	件数	金額(円)
生活資金		2	114,000
5年未満	120,000	1	50,000
5年以上	150,000	1	64,000
10年以上	200,000	0	0
慶弔資金	250,000	1	50,000
医療資金	250,000	0	0
入学資金		0	0
高校	250,000	0	0
大学※	500,000	0	0
罹災資金	500,000	0	0
合計		3	164,000

(3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区分		決算額	
加入期間	記念品額(円)	件数	金額(円)
5年	5,000	276	1,380,000
10年	10,000	141	1,410,000
15年	10,000	117	1,170,000
20年	15,000	57	855,000
25年	15,000	35	525,000
30年	20,000	19	380,000
35年	20,000	8	160,000
送料・挨拶状印刷費			149,100
合計		653	6,029,100

(4) 文化体育事業

内容		決算額	
区分	補助額(円)等	件数	金額(円)
文化鑑賞引換券補助	一人当たり上限4,000円	5,456	※16,949,600
映画鑑賞補助	費用の一部	10,312	3,527,300
観劇補助	費用の約1/2	29	435,000
プロ野球観戦補助	費用の約1/2	198	820,200
Jリーグ観戦補助	費用の約1/2	16	31,000
海浜プール利用補助	費用の一部	250	145,600
スポーツ施設利用補助	費用の一部	0	0
その他補助	費用の一部	1,230	2,691,792
合計		17,491	24,600,492

※文化鑑賞引換券補助…16,949,600円のうち420,000円は、福岡市補助金収入を充当。

別表 10 生活福祉資金貸付事業

(1) 貸付件数

①通常枠(本則に基づく貸付)

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
福祉資金(福祉費)	30	11,109,128
福祉資金(緊急小口資金)	28	2,680,000
教育支援資金	349	117,201,000
総合支援資金	1	668,081
不動産担保型生活資金	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	408	131,658,209

②新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の特例貸付(福岡市社協受付分)

資金種類	貸付決定額等	
	件数	金額(円)
緊急小口資金	2,327	453,159,000
総合支援資金(初回・延長貸付)	2,404	1,194,010,000
総合支援資金(再貸付)	0	0
合計	4,731	1,647,169,000

(2) 資金種別相談件数

資金種別	件数
福祉資金(福祉費)	915
緊急小口資金	682
教育支援資金	1,932
総合支援資金(通常枠)	340
不動産担保型生活資金	82
臨時特例つなぎ資金	46
コロナ特例貸付(※)	10,269
その他(貸付対象に非該当など)	1,313
合計	15,579

※新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の特例貸付(緊急小口資金及び総合支援資金)は、令和2年3月23日から令和4年9月30日まで受付を行った。

別表 1 1 会務の運営

(1) 理事会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または 決議の省略の場合は 同意者等(人)
〈第 1 回〉 4 月 1 日 (決議の省略)	・ 常務理事の選定	理事 17 監事 2
〈第 2 回〉 4 月 28 日 (決議の省略)	・ 次期役員候補者の選任 ・ 次期評議員選任候補者の推薦 ・ 決議の省略の方法による評議員会の招集	理事 17 監事 2
〈第 3 回〉 5 月 20 日	・ 令和 3 年度事業報告 ・ 令和 3 年度収支決算 ・ 理事候補の選任 ・ 令和 4 年度第 2 回評議員会（定時評議員会）の招集	理事 11 監事 3
〈第 4 回〉 7 月 29 日 (決議の省略)	・ 副会長、東区担当理事の選定 ・ 理事候補者の選任 ・ 評議員選任候補者の推薦 ・ 決議の省略の方法による評議員会の招集	理事 15 監事 3
〈第 5 回〉 3 月 7 日	・ 令和 4 年度第 1 次資金収支補正予算案 ・ 社会福祉調整基金の分割に伴う資金基金の制定 ・ 経理規定の一部改正案 ・ 令和 5 年度事業計画案 ・ 令和 5 年度資金収支予算案 ・ 事務局の組織及び事務分掌規程の一部改正案 ・ 職員就業規則の一部改正案 ・ 役員の報酬等に関する規程の一部改正案 ・ 役員等賠償責任保険の契約 ・ 理事候補者の選任 ・ 評議員選任候補者の選任 ・ 区担当理事の選任 ・ 令和 4 年度第 4 回評議員会（臨時評議員会）の招集 ・ 福祉サービス苦情解決第三者委員の選任	理事 12 監事 3
〈第 6 回〉 3 月 24 日 (決議の省略)	・ 理事候補者の選任 ・ 決議の省略の方法による評議員会の招集	理事 18 監事 3

(2) 評議員会の開催

実施日	審議事項等	出席者(人)または 決議の省略の場合は 同意者(人)
〈第 1 回〉 臨時評議員会 5 月 17 日 (決議の省略)	・ 次期役員の選任	26

実施日	審議事項等	出席者(人)または 決議の省略の場合は 同意者(人)
〈第2回〉 定時評議員会 6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告 ・令和3年度収支決算 ・理事の選任 	19 (理事2)
〈第3回〉 臨時評議員会 9月2日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任 	23
〈第4回〉 臨時評議員会 3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第1次資金収支補正予算案 ・令和5年度事業計画案 ・令和5年度資金収支予算案 ・役員の報酬等に関する規程の一部改正案 ・理事の選任 	14 (理事2)
〈第5回〉 臨時評議員会 3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任 	27

(3) 評議員選任・解任委員会の実施

決議があった日	内容等	出席者(人)または 決議の省略の場合は同意者(人)
〈第1回〉 5月16日 (決議の省略)	評議員の選任	5
〈第2回〉 8月15日 (決議の省略)	評議員の選任	5
〈第3回〉 3月17日 (決議の省略)	評議員の選任	5

(4) 監査の実施

実施日	監査事項等	監事(人)
5月12日	業務執行の状況及び財産の状況を監査	2

別表 1 2 部会の開催

(1) 地域福祉部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
〈第 1 回〉 5 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り活動時における「熱中症予防に向けた声かけ活動について」 ・健康と暮らしの調査の報告について ・令和 4 年度ふれあいサロン助成金の特例措置について ・助成手当におけるクレジットカード等の使用について ・安心情報キットの名簿について ・令和 3 年度共同募金実績報告及び、令和 4 年度赤い羽根ありがとうマップ掲載内容について ・地域共生社会の実現に向けた取組みについて 	11
〈第 2 回〉 11 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・部会長及び副部会長の選任について ・子ども食堂に対する食材等提供支援事業について ・福岡市成年後見センターの活用について ・見守り交流アプリ実証実験の進捗報告について ・「住まいサポートふくおか」2022 年度グッドデザイン賞受賞について ・意見交換 校区社協の運営・活動について 	11
〈第 3 回〉 2 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り活動時における熱中症予防に向けた声かけ活動アンケート結果について ・買い物支援ガイドブックについて ・令和 5 年度ふれあいサロン助成金の特例措置について ・各種助成事業等について ・地域での多様な取組みの事例紹介 	11

(2) 民生委員児童委員部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
3 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・正副部会長の選任について ・買い物支援ガイドブックについて ・民生委員と連携した支援について 	7

(3) 施設部会

開催日	内容（議題）	参加者（人）
3 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・第 64 回大都市社会福祉施設協議会（広島市大会）について ・福祉施設における福祉教育に関するアンケートの実施について ・施設と社協との連携・協働事業について 	14

(4) 各区運営部会

区	開催日	内容（議題）	参加者（人）
東	5月11日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和3年度事業報告・決算について	17
	2月13日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和5年度事業計画・予算について	16
博多	5月11日	・令和3年度事業報告・決算について	16
	2月13日	・令和5年度事業計画・予算について	19
中央	5月10日	・令和3年度事業報告・決算について	10
	7月6日	・中央区運営部会	13
	2月6日	・令和5年度事業計画・予算について	9
南	5月6日	・令和3年度事業報告・決算について	18
	2月8日	・令和5年度事業計画・予算について	18
城南	5月11日	・令和3年度事業報告・決算について	17
	2月9日	・部会長及び副部会長の選任について ・令和5年度事業計画・予算について	14
早良	5月9日	・令和3年度事業報告・決算について	15
	2月7日	・令和5年度事業計画・予算について	14
西	5月10日	・令和3年度事業報告・決算について	10
	2月10日	・令和5年度事業計画・予算について	17

別表 1 3 視察の受入

日付	団体名	視察内容	人数(人)
6月7日	大英産業株式会社	社会貢献型空家バンク事業	3
6月15日	国際厚生事業団	草の根交流事業について	1
7月20日	岡崎市議会 公明党	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業、終活サポートセンター	4
8月1日	荒尾市社会福祉協議会	終活サポートセンター、ファンドレイジング事業	3
8月18日	東海村社会福祉協議会	ずーっとあんしん安らか事業、やすらかパック事業、住まいサポートふくおか	2
8月19日	日向市居住支援協議会 設立準備会	終活サポートセンター、住まいサポートふくおか	5
10月31日	東洋大学福祉社会開発研究 センター地域福祉グループ	ICTを活用した地域の見守り・支援に関する研究	4
11月15日	松茂町社会福祉協議会	終活サポートセンター、成年後見制度事業	2
11月21日	旭川市社会福祉協議会	終活サポートセンター、住まいサポートふくおか	2
11月29日	仙台市	住まいサポートふくおか	2
12月12日	今野不動産株式会社	やすらかパック事業	6
1月27日	司法書士 UNIBEST	やすらかパック事業、終活サポートセンター	5
2月2日	韓国釜山北区役所公務員 福祉施設視察団	終活サポートセンター	14
2月17日	久留米市社会福祉協議会	終活サポートセンター	8
3月6日	上津校区社会福祉協議会	校区社協活動と小地域ネットワーク活動	22
3月8日	始良市社会福祉協議会	成年後見制度事業	4
3月10日	弘前市社会福祉協議会	終活サポートセンター	4

別表 1 4 講演等の依頼

日付	依頼団体・講座名等	講演内容等	人数(人)
4月20日	純真学園大学	ボランティア活動について	600
7月06日	中央区子どもネットワーク	区社協の地域での役割と子どもの支援について	24
5月06日	福岡大学医学部看護学科	地域福祉活動の理念と実際	106
6月11日	日本地域福祉学会	多死社会における地域福祉活動と身寄り問題	395
6月28日	むすびえ	社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会	70
7月06日	中央区子どもネットワーク	区社協の地域での役割と子どもの支援について	24
7月25日	福岡県社会福祉協議会 成年後見制度利用促進研修会	福岡市における成年後見制度利用促進に向けた取組み(オンライン)	100
7月28日	福岡市介護実習普及センター 介護講座	みんなで考える認知症介護 ～知ることからはじめよう！認知症支援制度～	33
8月4日	博多区保護課 職員研修	日常生活自立支援事業と成年後見制度について	25
8月16日	中央区障がい者基幹相談支援センター 中央区いろどりネット研修会	成年後見制度について(オンライン)	10
8月30日	東区民協地域福祉部会	校区社協等他団体との共働・連携に関すること	81
8月31日	東区民協自立支援部会	コロナ禍での生活困窮者支援について	70
8月31日	東区民協高齢者部会	ユマニチュード地域講座	71
9月1日	福津市社会福祉協議会 福津市市民後見人養成研修	市民後見人の役割	20
9月09日	北海道社会福祉協議会	草の根交流事業について	100
9月13日	福岡市子ども虐待防止市民フォーラム	「こどもの心によりそって一虐待予防のために私たちができること」(コーディネーター役)	207
10月11日	九州大学歯学部	バリアフリー・ユニバーサルデザイン、地域福祉活動の実際	45
10月17日	中央区役所福祉・介護保険課	社会福祉協議会の活動について	40
10月19日	福岡家庭裁判所 成年後見制度説明会	福岡市における成年後見制度利用促進に向けた取組み	42
10月24日	中村学園大学	地域との協働による買い物支援について知る	30
11月16日	久留米市社協施設部会	食材提供支援事業について	10
11月17日	中村学園大学	福岡市の買い物支援の取組みについて	260
11月21日	中村学園大学	移動販売をより良くするための学生それぞれの課題解決案の発表	15
11月30日	福岡県弁護士会 あいゆう研修	福岡市における成年後見制度利用促進に向けた取組み	200
12月1日	城南区民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会について	66

日付	依頼団体・講座名等	講演内容等	人数(人)
12月8日	西南学院大学	社会保障と社会福祉について	120
12月9日	早良区地域保健福祉課 意見交換会	福岡市成年後見推進センターについて	15
1月23日	市福祉局地域包括ケア推進課 高齢者虐待対応研修	福岡市成年後見推進センターで対応した事例報告	40
1月26日	福岡よかトピア国際交流財団	「相談業務・地域における多文化共生」職員研修	24
1月28日	自治労九州地区連絡協議会 介護・福祉集会第5分科会	権利擁護活動の実践	15
1月31日	福岡市介護実習普及センター 介護講座	みんなで考える認知症介護 ～知ることからはじめよう！認知症支援制度～	25
2月2日	麻生医療福祉専門学校	社会福祉協議会について	19
2月8日	佐賀県みやき町	居住支援法人設立について	35
2月13日	第一薬科大学 看護学部	地域福祉活動の理念と実際	78
2月13日	市民児協高齢者部会	ユマニチュード地域講座	20
2月20日	第一薬科大学 看護学部	宮竹校区の概況と校区の地域活動について (オンライン開催)	100